

2025年度 学生募集要項

通信教育部 人間福祉学部 人間福祉学科



中部学院大学 通信教育部

2025年度 学生募集要項

CONTENTS

募集・出願の 基本情報 ①

- 1 アドミッションポリシー
- 2 募集学部・学科・定員、取得可能な資格
- 3 出願期間・合格発表日等について
- 4 出願から学習開始までの流れ

出願手続き ②

- 6 1年次入学の出願（正科生）
- 7 3年次編入学の出願（正科生）
- 8 4年次編入学・再入学の出願（正科生）
- 9 科目等履修生の出願
- 10 特修生の出願
- 11 聴講生の出願
- 12 入学志願書記入要領
- 14 出願にあたっての留意事項

単位認定・ 実習免除 ③

- 16 正科生の単位認定（包括・個別）
- 20 実習の免除に関する手続きについて

コース制 と留意点 ④

- 21 コース制度（正科生）について
- 21 社会福祉士コースについて
- 22 精神保健福祉士コースについて
- 22 認定心理士・その他のコースについて

開講科目 ⑤

- 23 開講科目表について（見方）
- 24 開講科目一覧表

学費・ 減免制度等 ⑥

- 27 学費等について
- 29 選考料・入学金の減免制度について

Q&A ⑦

- 31 Q&A

アドミッションポリシー

中部学院大学は、建学の精神を「神を畏れることは知識のはじめである」としています。「神を畏れる」とは、神を敬うということ、そして神が創造された人(自分と他者)を愛し、自然を大切にすることです。そのことを理解することから、平和と自由をもたらす真の知識が拓かれると考えます。

この建学の精神と志望する研究科・学部・学科の教育目標や特色を理解しつつ、未来に向かって積極的に学ぶ学生、傾聴と対話しようと努力する学生、地域と人類の福祉(human well-being)に貢献することを望む学生を、本学は求めます。

人間福祉学部 人間福祉学科

社会福祉における諸問題に対応できる理論と技術について教授、研究し、幅広い教養、深い専門的知識を基盤に福祉社会に貢献し得る人材養成及び生涯学習機会を提供することを目的とする。(通信教育部規定第3条に規定する教育研究上の目的)

本学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める人材を養成するために、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得している。
2. 社会福祉や精神保健福祉、ないしはそれらの関連領域で専門性の高い仕事に就く意欲がある。
3. 社会福祉や精神保健福祉、ないしはそれらの関連領域における専門的な知識・技能を学修するための基盤となる日本語運用力(文章読解力)や表現力(課題に応じた内容をまとめる力、文章を読んでまとめる力)を身につけている。
4. 人間・福祉・社会に関する諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
5. ボランティア活動等の経験があり、他の人たちと共同して活動や学習をすることに進んで参加できる。また、スクーリング時のグループワークなどで、他の人たちと協力しながら、課題をやり遂げる意欲がある。

募集学部・学科・定員

中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科 通信教育課程

正科生 ◆大学卒業と資格取得を目指す。

入学時期	入学種別	修業年限 ^{※1}	定員	出願資格
4月	1年次入学	4年	100名	◆大学入学資格を有している方
	3年次編入学	2年	300名	◆大学・短期大学・専修学校(専門課程)・高等専門学校を卒業している方 ◆62単位以上を修得(2年以上在学)して大学を中退している方 ◆高等学校等の専攻科(修業年限2年以上、その他文部科学大臣が定める基準を満たす)を修了している方 ほか
	4年次編入学	1年	若干名	◆本学通信教育課程人間福祉学部を卒業された方 ◆本学通学課程(人間福祉学部または教育学部)を卒業された方等 ※他大学の卒業者等は募集対象外です。

※1 卒業までに最低限必要な年数を示します。

コースの定員と選抜の有無、方法については「コース制度について」(P21～)を確認してください。

科目等履修生 ◆部分的に単位を修得し、将来に生かす。

入学時期	修業年限	出願資格	備考
4月入学	1年	◆満18歳以上で大学入学資格を有している方 または ◆大学、短期大学等を卒業している方	詳細はP9
10月入学			翌年度4月に「精神保健福祉士コース」へ所属するためのプレ選抜制度あり。

※のちに、正科生として入学する場合は、「科目等履修生」で修得した単位(上限:18単位)を認定することが可能です。

特修生 ◆正科生への入学を目指す。

入学時期	修業年限	出願資格	備考
4月入学	1年	◆満18歳以上の方で本学(通信教育部)に正科生として入学を希望される方	本学(通信教育部)に正科生として入学するためには、16単位以上の修得が必要。詳細はP10 ※本学(通学課程)または、他大学への入学資格にはなりません。

※のちに、正科生として入学する場合は、「特修生」で修得した単位(上限:20単位)を認定することが可能です。

聴講生 ◆資格や単位にこだわらず、教養として学ぶ。

入学時期	修業年限	出願資格	備考
4月入学	1年	◆満18歳以上の方	詳細はP11 ※単位を修得することはできません。

取得可能な資格

正科生	科目等履修生
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士(国家試験)受験資格 精神保健福祉士(国家試験)受験資格 社会福祉主事任用資格 児童福祉司任用資格 ※1 中部学院大学アグリケアコース修了証 	<ul style="list-style-type: none"> 認定心理士 ※2 中部学院大学アグリケアコース修了証

※1 卒業後に1年間の実務経験が必要です。

※2 すでに学士(大学卒業資格)を有している方が対象です。

出願期間・合格発表日等について

4月入学 募集対象：正科生、科目等履修生、特修生、聴講生

出願期	出願期間	合格発表(発送日)	入学手続締切	教材到着の目安
第1期	1月6日(月)～1月31日(金) 消印有効	2月14日(金)	3月4日(火)	4月上旬
第2期	2月1日(土)～2月25日(火) 消印有効	3月7日(金)	3月26日(水)	4月中旬
第3期	2月26日(水)～3月14日(金) 消印有効	4月1日(火)	4月16日(水)	5月上旬
第4期	3月15日(土)～3月31日(月) 消印有効	4月15日(火)	5月2日(金)	5月下旬
第5期	4月1日(火)～4月11日(金) 消印有効	4月25日(金)	5月14日(水)	5月末

ア) 出願期に関わらず4月入学として取り扱います。

イ) 出願期によって学習開始の時期が変わります。教材到着の目安の時期を参考にしてください。

ウ) 第3期以降の出願については、学習開始時期が5月以降となるため、年度開始の早い時期に開講する一部スクーリングや直近の科目修了試験については、受講・受験できない場合があります。出願期によって異なる各種事務申請の内容については、出願後に送付する資料でご案内します。

10月入学 科目等履修生のみ ◆翌年度4月の正科生入学を視野に。

出願期	出願期間	合格発表(発送日)	入学手続締切	教材到着の目安
第6期	8月1日(金)～8月29日(金) 消印有効	9月10日(水)	9月24日(水)	10月上旬

◆10月入学の留意点

ア) 10月入学については、**翌年度に正科生としての入学(4月入学)を希望している方で、先行して学習を開始したい方に**出願を推奨しています。

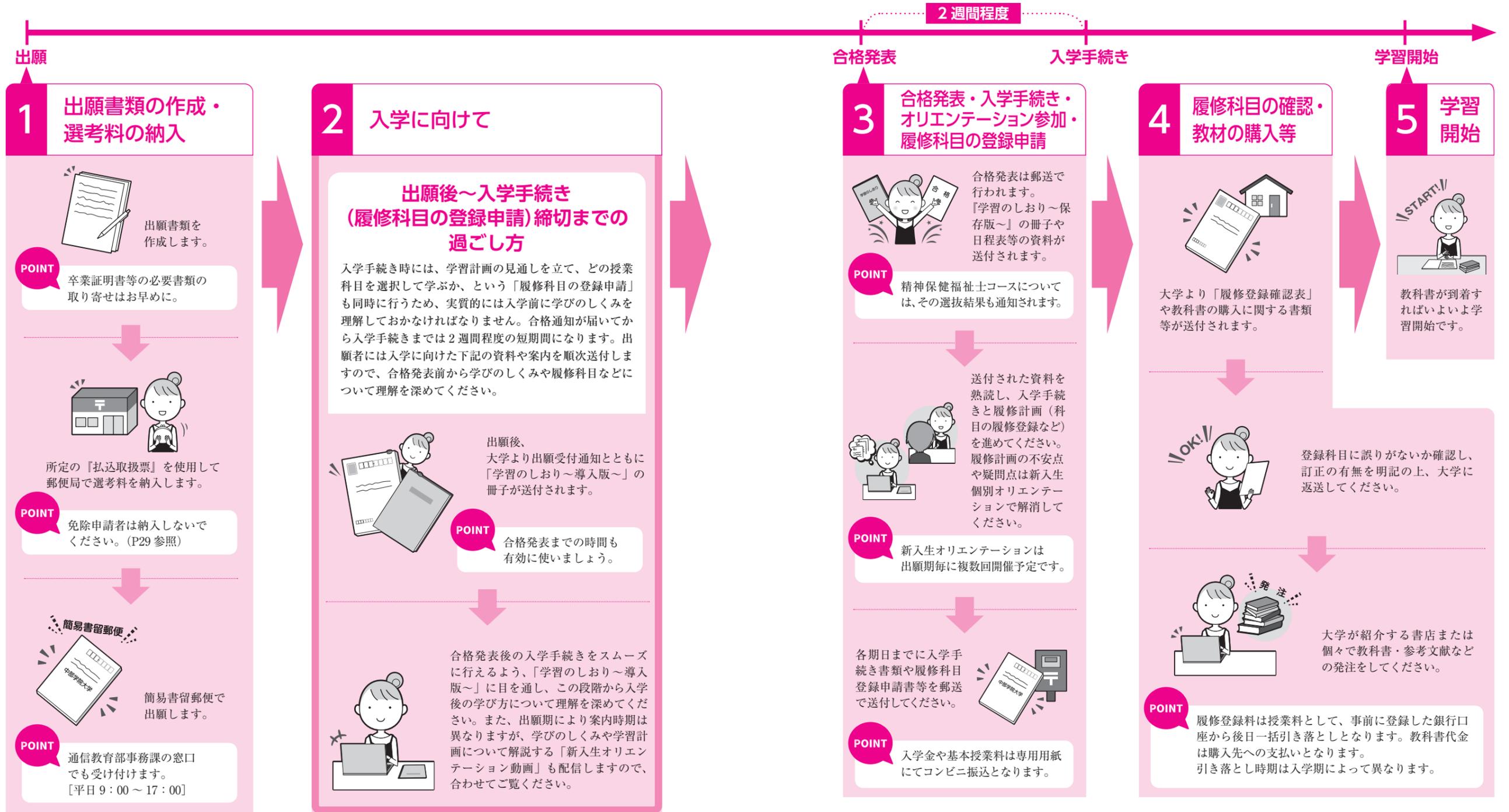
イ) **科目等履修生として複数年度での学習を見込んでいる場合は10月入学ではなく4月入学を推奨します。**これは履修有効期限の違いや学習スケジュールにおいて4月入学のほうが学習計画を立てやすいためです。もちろん10月入学は可能ですので、科目等履修生での入学を検討されている方は、お気軽に通信教育部事務課までご相談ください。

ウ) 科目等履修生の履修科目は入学目的に応じて推奨科目を示します。正科生のコース所属者を対象とした実習等の科目は履修できません。詳細は出願後に学習の手引きとなる資料を送付しますのでご確認ください。具体的に単位を修得したい科目がある場合は、事前に通信教育部事務課にお問い合わせください。

エ) 科目等履修生で履修・修得した単位は、本学通信教育部に正科生として入学する場合、18単位を上限として認定できます。

オ) 教科書や学習ガイドブック(授業計画)は、3月末を基準に更新されます。10月入学の科目等履修生の在籍期間は1年間ですが、年度をまたがって学習を継続する場合には科目により教科書の再購入が必要になる場合があります。

出願から学習開始までの流れ



出願書類受付後に郵送案内される主な資料について

※発送物の種類や発送時期は出願期によって異なる場合があります。

- **出願書類受付通知書**
出願書類の受付を通知する書類です。
- **「学習のしおり～導入版～」**
学習計画(履修科目の選択)のためのガイド冊子になります。
- **「新入生オリエンテーション動画」のご案内**
学び方のしくみやルールなどに関する解説動画になります。
- **「新入生個別オリエンテーション」のご案内(希望者申込制)**
個別相談形式のオリエンテーションを出願期毎に事前申込制で実施します。参加希望者は合格発表後に申込ができます。

重要 出願書類・選考料・入学辞退等の取り扱いについて

- ◆ **出願の扱いについて**
出願書類を本学通信教育部が受理した時点で取り下げができなくなります。入金された選考料も返金いたしませんのでご注意ください。
- ◆ **出願の無効**
出願期を過ぎた出願(4月入学の最終期または10月入学の最終締切日の消印を過ぎている場合)については無効とし、入金された選考料は返金(※)いたします。
- ◆ **入学辞退について**
合格発表後、入学手続き書類を提出する前に入学を辞退する旨の連絡があった場合には、基本授業料を返金(※)いたします。ただし、出願書類の返却はいたしません。
※返金の際には、手数料¥1,000が差し引かれます。

出願資格・出願書類（入学種別順）

1年次入学(正科生)

1 出願資格 入学年(2025年)の4月1日現在、満18歳以上で次のいずれかに該当する方

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方
(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した方を含む)
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方、または、これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有すものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤ 文部科学大臣の指定した方
- ⑥ 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験、または、大学入学資格検定試験に合格した方
- ⑦ 本学の特修生として必要な課程を修了した方
- ⑧ その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると本学において認められた方

※なお、上記①～⑧については、2025年3月31日までに卒業、修了または合格等見込まれる方も出願することができます。

2 出願手続きについて

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(学籍原簿)：裏面に郵便振替払込受付証明書貼付	①	写真は必ず証明書用のものを使用のこと。学生証の顔写真としても使用します。
2. 入学志願書(OCR)	②	
3. 志望理由書	③	
4. 宛名シール	④	
5. 精神保健福祉士コース選抜志願書	⑤	希望者のみ(P22参照)
6. 入学資格証明書(卒業証明書等)	-	(下記※1参照)
7. 単位認定申請票[1年次入学用]	⑦	希望者のみ(P16～参照)
8. 学習成果や資格取得を証明する書類	-	様式⑦提出者のみ(下記※2参照)
9. 選考料・入学金減免申請書、紹介状、施設長推薦状	⑧⑨⑩	該当者のみ(P29～30参照)
10. 戸籍抄本	-	該当者のみ(下記※3参照)
11. 志願者アンケート	⑪	
12. 実習科目履修免除申請書類	別冊	該当者のみ(P20参照)

※1「入学資格証明書」は次のいずれかの証明書を提出してください。(発行日より1年以内)

注)卒業証書のコピー不可。出身学校等から証明書を取り寄せてください。

- 高等学校卒業証明書
- 高等学校卒業程度認定試験合格証明書(注意:合格証書ではありません)
- その他(通信教育部事務課までお問い合わせください)

※2「学習成果や資格取得を証明する書類」は次のいずれかの証明書を提出してください。

- 成績証明書(単位数を明記)又は単位修得証明書(P16～参照)(発行日より1年以内)
- 資格取得や検定試験の合格を証明する書類(P17～参照)

※3「戸籍抄本」が必要な場合について(発行日より1年以内)

「入学資格証明書」と現在の氏名が異なる場合は本人確認のために「戸籍抄本」が必要です。

(例:卒業証明書の氏名は〇〇だが、結婚等でXXに改姓した場合など)

3年次編入学(正科生)

1 出願資格

- ① 大学・短期大学・高等専門学校(5年制)を卒業した方
- ② 専修学校専門課程を修了(卒業)した方
【専修学校専門課程については以下に該当する必要があります】
ア)修了した時点において専修学校専門課程の認可を受けていること
イ)修業年限が2年以上であること
ウ)修了に必要な総授業時数が1,700時間以上(単位制および通信制の学科においては、総単位数が62単位以上)であること
- ③ 4年制大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し退学した方
- ④ 高等学校等の専攻科(修業年限2年以上、その他文部科学大臣が定める基準を満たす)を修了した方
- ⑤ 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されている方
- ⑥ その他、相当の年齢に達し、上記と同等以上の学力があると本学において認められた方
※2025年3月31日までに卒業、修了等見込まれる方も出願することができます。

2 出願手続きについて

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(学籍原簿)：裏面に郵便振替払込受付証明書貼付	①	写真は必ず証明書用のものを使用のこと。学生証の顔写真としても使用します。
2. 入学志願書(OCR)	②	
3. 志望理由書	③	
4. 宛名シール	④	
5. 精神保健福祉士コース選抜志願書	⑤	希望者のみ(P22参照)
6. 入学資格証明書(卒業証明書等)	-	(下記※1参照)
7. 単位認定申請票[3年次編入学用]	⑦	(P16～参照)
8. 学習成果や資格取得を証明する書類(成績証明書等)	-	(下記※2参照)
9. 選考料・入学金減免申請書、紹介状、施設長推薦状	⑧⑨⑩	該当者のみ(P29～30参照)
10. 戸籍抄本	-	該当者のみ(下記※3参照)
11. 志願者アンケート	⑪	
12. 実習科目履修免除申請書類	別冊	該当者のみ(P20参照)

※1「入学資格証明書」は次のいずれかの証明書を提出してください。(発行日より1年以内)

注)卒業証書のコピー不可。出身学校等から証明書を取り寄せてください。

- 大学・短期大学卒業証明書
- 高等専門学校(5年制)卒業証明書
- 専修学校専門課程修了(卒業)証明書

注意:「専修学校専門課程卒業(修了)証明書」は募集要項に綴られている専用書式(願書様式番号⑥)を使用し、卒業した専修学校に証明を依頼してください。ただし、同様の内容の証明書を専修学校において発行していただける場合には、専修学校が作成した書式を証明書とすることも可能です。なお、各専修学校が発行する修了証明書の内容において「専門士の称号」を付与されていることが確認できる場合には、専用書式⑥の提出は不要です。

- 大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書
- 退学等の場合は在籍期間証明書 ※休学期間がある場合はその期間も必ず明記されていること。
- 高等学校等の専攻科を修了した方

①修了証明書 ②成績証明書 ③出身学校が発行する証明書(注3) ①②③とも必要です。
(注3)詳しくは事前に通信教育部事務課へご相談ください。なお、学校教育法第58条の2に規定する高等学校等の専攻科であり、文部科学省告示(平成28年3月30日)第63号(または第64号)の基準を満たしている課程であることを証明する書類を出身学校長が作成し提出していただきます。

- その他(通信教育部事務課までお問い合わせください)

※2「学習成果や資格取得を証明する書類」は次の証明書を提出してください。

- 成績証明書(単位数又は授業時間数が明記)又は単位修得証明書(発行日より1年以内)
- 資格取得や検定試験の合格を証明する書類(「有資格認定」の場合)

※3「戸籍抄本」が必要な場合について(発行日より1年以内)

「入学資格証明書」と現在の氏名が異なる場合は本人確認のために「戸籍抄本」が必要です。

(例:卒業証明書の氏名は〇〇だが、結婚等で姓がXXに改姓した場合など)

4年次編入学・再入学(1年次～4年次)等年次編入学(正科生)

本通信教育部では、4年次編入学制度や再入学制度を設けています。次に該当する方は、「4年次編入学・再入学等」に該当しますので、必要事項を確認してください。

対象者

4年次編入学	<ul style="list-style-type: none"> ・本学通信教育課程人間福祉学部の卒業生で4年次編入を希望する方 ・本学通学課程(人間福祉学部または教育学部)の卒業生、または3年以上在学し92単位以上の単位を修得した方で、4年次編入を希望する方 ※他大学の卒業生等は募集対象外です。
再入学	<ul style="list-style-type: none"> ・本学通信教育部での在籍歴があり、再入学を希望する方

1 4年次編入学・再入学等への出願手続き

4年次編入学及び再入学等(以下「再入学等」と表記)を行う場合は、本「募集要項」とは別に、「4年次編入学・再入学等出願要項」が必要となりますので、通信教育部事務課まで請求してください。

① 出願までの流れ

再入学等による出願については、本募集要項の出願書類を使用してください。

なお、再入学等による出願の場合は、下記5～7及び10の証明書等を提出する必要はありません。ただし、「4年次編入学・再入学等出願要項」に同封する11「入学志願書(再入学等用)」と12「再入学等調査票」を出願にあわせて提出してください。

その他、合格発表、入学手続締め切り等は一般の出願者に準じますが、**出願期は第3期～第5期に限られます**。詳しくは「4年次編入学・再入学等出願要項」を参照してください

※4年次編入学・再入学要項の発行・配布は、2025年1月上旬になります。

2 出願手續について

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(OCR)	②	
2. 志望理由書	③	正科生として再入学の場合
3. 宛名シール	④	
4. 精神保健福祉士コース選抜志願書	⑤	希望者のみ
5. 入学資格証明書		提出不要
6. 単位認定申請票		提出不要
7. 学習成果や資格取得を証明する書類		提出不要
8. 選考料・入学金減免申請	⑧	該当者のみ(P29参照)
9. 戸籍抄本	-	該当者のみ
10. 志願者アンケート	-	提出不要
11. 入学志願書(学籍原簿)＜再入学等用＞	別冊	「4年次編入学・再入学等出願要項」に同封
12. 再入学等調査票	別冊	
13. 実習科目履修免除申請書類	別冊	該当者のみ(P20参照)

注)科目等履修生から正科生として再入学する場合は提出が必要となります。

科目等履修生

1 出願資格

正科生(1年次入学)に準じます(P6参照)

2 出願手續について

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(学籍原簿):裏面に郵便振替払込受付証明書貼付	①	写真は必ず証明書用のものを使用のこと。学生証の顔写真としても使用します。
2. 入学志願書(OCR)	②	
3. 宛名シール	④	
4. 精神保健福祉士コースプレ選抜志願書	⑤	10月入学の希望者のみ
5. 入学資格証明書(注1)	-	最終学歴に応じ、P6またはP7の※1参照
6. 戸籍抄本	-	該当者のみ(P6の※3参照)
7. 志願者アンケート	⑪	

(注1) 入学資格証明書は、できるだけ最終学歴の証明書(大学院を除く)を提出してください。

3 在籍期間

在籍期間は1年間です。1年間を超えて引き続き学習を希望する場合は、1年ごとに所定の手続が必要です。

4 単位認定

科目等履修生として単位を修得した後に、正科生として再入学した場合は当該単位を認定(上限18単位)します。

5 資格取得

本学で社会福祉士受験資格や精神保健福祉士受験資格の取得を目指す場合には、正科生(編入生含む)として入学し、必要な単位を修得した後、卒業することが必要です。

なお、すでに4年制大学を卒業(学士取得者)している場合には、科目等履修生で認定心理士の取得が可能です。詳しくは事前にお問い合わせください。

6 精神保健福祉士コースプレ選抜(10月入学)

10月入学では科目等履修生として一旦入学し、翌年度4月に正科生として再入学をする予定の方に向けて「精神保健福祉士コースプレ選抜」を行います。

この「プレ選抜」の結果は翌年4月入学で正科生に出願(再入学)する際に有効となります。

「精神保健福祉士コースプレ選抜」を希望する場合は、「精神保健福祉士コースプレ選抜志願書」を提出してください。なお、精神保健福祉士受験資格を取得するためには、正科生として再入学して卒業する必要があります。



7 10月入学についての留意点

P3をご確認ください。

特修生

1 出願資格

入学年(2025年)の4月1日現在で満18歳以上の方(義務教育修了者であれば学歴は問いません)

2 出願手續について

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(学籍原簿):裏面に郵便振替払込受付証明書貼付	①	写真は必ず証明書用のものを使用のこと。学生証の顔写真としても使用します。
2. 入学志願書(OCR)	②	
3. 志望理由書	③	
4. 入学資格証明書(年齢を証明するもの(コピー可))	-	(下記※1参照)
5. 宛名シール	④	
6. 志願者アンケート	⑪	

※1「年齢を証明するもの」は次のいずれかの証明書を提出してください(コピー可)

- 運転免許証 パスポート 健康保険証 マイナンバーカード
- その他、年齢を証明する公的な証明書(通信教育部事務課までお問い合わせください。)

3 履修科目について

正科生の入学資格を取得するためには、1年以上特修生として在籍し、以下の「人文」「社会」「自然」の3分野からそれぞれ最低1科目以上、合計16単位以上修得することが必要です。

分野	人文	社会	自然
科目	キリスト教概論[4(2)] 死生学[2] 言語による表現活動[2(1)] (コミュニケーション英語)	日本国憲法[4] 社会理論と社会システム [2/2(2)] 法学入門[2(2)]	心理学[4/4(2)]

◆科目名、単位数は若干の変更となる場合があります。

◆〔 〕は単位数を、()はスクーリングの単位数を示しています。/については複数の開講形態があることを示しています。

4 正科生への入学

特修生として所定の課程を修了すると「正科生入学資格審査(特修生)」の受験資格が取得でき、審査に合格すると正科生への出願が可能となります。

本学正科生への入学手續は正科生としての出願資格を得た後に、改めて募集要項を本学に請求し、出願する必要があります。

また、特修生の在学期間は後に正科生として入学した場合、在学年限に算入されることはありません。したがって正科生として4年(修業年限)以上在籍する必要があります。

5 修業年限・在学年限

特修生の標準修業年限は1年間、在学年限は2年間です。在学年限(2年間)内で所定の単位が修得できない場合には全科目の学習記録が無効となります。また、1年間を超えて引き続き学習を希望する場合は所定の手続が必要です。

6 単位の認定

特修生として修得した単位(上限20単位)は本学正科生へ入学した際、申請に基づき認定されます。

聴講生

1 出願資格

入学年(2025年)の4月1日現在で満18歳以上の方(学歴は問いません)

2 出願手續について

出願書類(記入方法等の詳細は P12～P13を参照)	願書様式番号	備考
1. 入学志願書(学籍原簿):裏面に郵便振替払込受付証明書貼付	①	写真は必ず証明書用のものを使用のこと。学生証の顔写真としても使用します。
2. 入学志願書(OCR)	②	
3. 入学資格証明書(年齢を証明するもの(コピー可))	-	(下記※1参照)
4. 宛名シール	④	
5. 志願者アンケート	⑪	

※1「年齢を証明するもの」は次のいずれかの証明書を提出してください(コピー可)

- 運転免許証 パスポート 健康保険証 マイナンバーカード
- その他、年齢を証明する公的な証明書(通信教育部事務課までお問い合わせください。)

3 在籍期間

在籍期間は1年間です。1年間を超えて引き続き学習を希望する場合は、1年ごとに所定の手続が必要です。

4 聴講科目

聴講できる科目については、基礎教養系科目と専門科目のうちスクーリングで実施される授業科目に限られます。(開講科目一覧表の履修形態が「S」となっている科目)。

これらの科目であっても授業の実施方法や内容により聴講できない場合もあります。**聴講したい具体的な科目がある場合には、事前に通信教育部事務課までお問い合わせください。**

なお、科目等履修生の出願資格を満たしている方は、科目等履修生として入学していただくことで受講できる科目の選択肢は大幅に増えます。また、科目等履修生と聴講生で学費面での違いはありません。

入学志願書記入要領

1 入学志願書(学籍原簿)様式①

同封の「入学志願書」は、本人が自筆で正確に記入ください。

黒インクまたは黒のボールペンを使用して、楷書ではっきりと記入ください。本人が自筆で氏名を記入し、押印してください。

また、郵便局で選考料10,000円を納入し、その際に受領した「郵便振替払込受付証明書」を裏面に貼付してください。

入学時期

入学時期に「○」印を付けてください。

志願種別

P2を参考にして、該当する学生の種別に「○」印を付けてください。

氏名・現住所・生年月日

楷書ではっきりと記入してください。

携帯電話・メールアドレス

所持している場合は記入してください。

在学誓書

本人が自筆で氏名を記入し、押印してください。

緊急連絡先

必ず記入してください。

資格取得に関する希望調査

出願時点で取得を希望する資格の数字に「○」印を付けてください。

受講環境調査

それぞれあてはまる番号に「○」印を付けてください。

2025年度 入学志願書(学籍原簿) ①

中部学院大学通信教育部

受付年月日 入学時期 志願種別 写真貼付

入学時期: 10月入学 () 2月入学 () 3月入学 () 4月入学 () 5月入学 () 6月入学 () 7月入学 () 8月入学 () 9月入学 ()

志願種別: 1. 正科生 () 2. 特修生 () 3. 特修生 () 4. 特修生 () 5. 特修生 () 6. 特修生 () 7. 特修生 () 8. 特修生 () 9. 特修生 () 10. 特修生 ()

氏名: 姓 中部 名 花子 性別 女 生年月日 1990年 4月 25日 34歳

住所: 〒501-3998 岐阜県関市桐ヶ丘2-1

TEL: (0575) 24-2287 FAX: (0575) 24-2710

携帯電話: (090) 6090-9430

在学誓書: 2025年 3月 20日

写真

写真は必ず証明書用のものを使用してください。学生証の顔写真として使用しますのでデータを出力したものは不可です。

単位認定希望

正科生志願者で単位認定を申請する方は「あり」に○をつけ、様式⑦を提出してください。(P16～参照)

勤務先・学校名

現在所属している「勤務先」または「学校名」を記入してください。

学歴

最終学歴まで分かるように記入してください。

職歴

最終履歴まで分かるように記入してください。

払込受付証明書

「郵便振替払込受付証明書」を貼付してください。(選考料・入学金減免の申請者を除く)

学習上の配慮に関する調査

必要に応じて記入してください。

2 入学志願書(OCR)様式②

同封の「入学志願書」を使用して、正確に記入ください。機械で読み取りますので、黒えんぴつを使用し楷書ではっきりと濃く記入ください。また、折ったりしないように注意してください。

★1～8のコード記入欄はOCR裏面のコード一覧を参照しながら記入してください。

氏名・性別・生年月日

漢字は正しい文字を使い楷書でフリガナはカタカナで明瞭に記入してください。

現住所・勤務先

アパート・建物等の記入は棟番号、戸番号まで確実に記入してください。

※入学者調査へのご協力について

入学者調査の内、⑥「職業コード」に関する分類は、次を参考にしコード選択してください。

- 1) 教員: 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学等において教職に従事する者
- 2) 公務員: 国家公務員及び地方公務員、ただし、公務員で教員である者は「教員」とする
- 3) 会社員、団体職員等: 上記(1)(2)以外の法人格を有する企業またはそれに準ずる企業等に勤務する者
- 4) 個人営業自由業: 商店等を個人で営む者、文筆業、開業医師等
- 5) 無職: 職業を持たない者、家庭の主婦等
- 6) その他: 農業、林業、漁業等に従事する者、その他上記の(1)から(5)の分類に該当しない者
例) 保育園に勤務する保育士、病院に勤務する看護師、特別養護老人ホームに勤務する職員等
(但し、私立法人の場合) → (3)会社(商店)員、銀行員等

2025年度 入学志願書(OCR) ②

中部学院大学 通信教育部

入学時期: 1 10月入学 2 2月入学 3 3月入学 4 4月入学 5 5月入学 6 6月入学 7 7月入学 8 8月入学 9 9月入学

志願種別: 1 正科生 2 特修生 3 特修生 4 特修生 5 特修生 6 特修生 7 特修生 8 特修生 9 特修生

氏名: 姓 中部 名 花子 性別 女 生年月日 1990年 4月 25日

住所: 〒501-3998 岐阜県関市桐ヶ丘2-1

TEL: (0575) 24-2287 FAX: (0575) 24-2710

携帯電話: (090) 6090-9430

勤務先: 中部福祉サービスセンター

職業コード: 30 職業コード: 03 職業コード: 2

最終学歴: 30 最終学歴: 2008年 03月 2日

電話番号

はっきりとした算用数字で記入してください。(ハイフン入れる)

高校の卒業年月

最終学歴が大学・短大・専門学校卒業の場合も高校の卒業年月を記入してください。

出願にあたっての留意事項

1 出願に関して

①二重学籍の禁止(正科生のみ)

学校教育法に定められた高等専門学校・短期大学・大学・大学院に在籍されている方は二重学籍となりますので、本学に正科生として入学することはできません。ただし、科目等履修生として入学することは可能です。

②外国人の入学について

日本語による学習、日本語によるスクーリング受講等が可能な方で、科目修了試験・スクーリングへの出席が可能な方に限ります。(原則として日本に在住されている方)

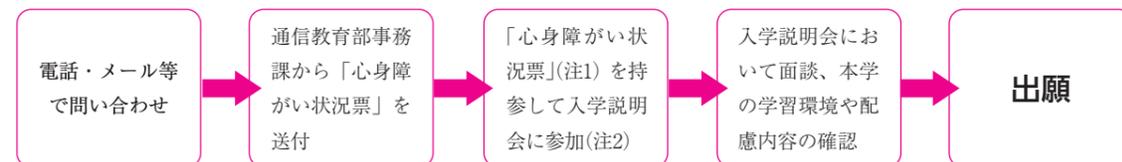
2 心身に障がいがある方の入学について

心身に障がいがある方が本学入学を希望する場合は、**出願前に本通信教育部事務課に電話・メール等で相談していただくことを必須とします。**その後、本通信教育部事務課より「心身障がい状況票」を送付しますので内容を記載の上、障がいの程度や種類が確認できる書類(身体障害者手帳の写し、療育手帳等の写し、精神障害者保健福祉手帳の写し、医師の診断書等)をあわせてご持参いただき、「入学説明会」(あるいは大学での面談)にご参加いただくことになります。なお、その際面談は必須条件となりますのでご了承ください。

事前の相談がなく出願書類が送付された場合は、出願受付を取消す場合がありますのでご注意ください。

本通信教育部では、心身に障がいがある方の学習に際してできる限り配慮したいと考えております。なお、希望される支援の内容によっては対応が困難な場合もありますのでご了承ください。

心身に障がいがある方の出願までの流れ



(注1)「障がいの程度が確認できる書類」を含む ※参加できる入学説明会の日程が決定しましたら事前にご連絡ください。

(注2)入学説明会の日程は、本学通信教育部のホームページ等でご確認ください。

対応が可能なこと

①スクーリング及び科目修了試験に関して

- ・修了試験の時間延長(但し諸条件あり)
- ・配付資料や修了試験問題等の拡大コピー
- ・介助者(手話通訳者、ノートテイク等含む)のスクールバス乗車及び学内施設利用許可
- ・スクーリング時の教室内へのパソコン及びルーペ等拡大器の持ち込み許可(但し諸条件あり)
- ・特定の座席の確保
- ・本学(関ノ各務原キャンパス)会場の場合、移動が容易な教室の確保
- ・スクーリング時の介助者の教室入場許可及び座席の確保
- ・スクーリング時に担当教員の許可が得られる場合、ICレコーダー等の録音機器による授業内容の録音許可(録音作業は自身で行う。)
- ・科目修了試験時のルーペ等拡大器の持ち込み許可
- ・科目修了試験時の試験時間以外における介助者の試験会場への入場許可

②その他

- ・提出課題を提出する際、自筆限定の科目についてのパソコン(文書作成ソフト)使用許可
- ・各種実習先に対し障がいの状況連絡及び配慮の依頼(配慮の内容は実習先による)
- ・各種実習における対応について実習先との連絡調整
- ・各種実習の際、記録簿等作成時のパソコン(文書作成ソフト)使用許可

対応に検討を要する事項

- ・手話通訳、ノートテイク、生活介助等のサポート等の介助者の確保(紹介、仲介、あっせん)
- ・教科書、補助教材等の点字や拡大文字の対応及び提出課題・試験答案の点字での提出
- ・代筆による提出課題、試験答案の提出
- ・各種機器、備品(パソコン、録音機、ルーペ等)の貸し出し
- ・スクーリング及び科目修了試験会場のバリアフリー化
- ・修了試験の別室受験
- ・その他、【対応が可能なこと】に記載のない内容

3 修業年限・在学年限について(正科生のみ)

1年次入学の場合の修業年限(卒業までに必要な年数)は4年、在学年限(在学可能な年数)は8年です。これに対して3年次編入学生の修業年限は2年、在学年限は4年になります。

なお、在学可能な年数を超えた場合でも、再入学により引き続き学習を継続することは可能です。但し、再入学の前後でカリキュラムが異なっている場合には、再入学時のカリキュラムやルールに従って卒業や資格要件を満たす必要があります。

4 学習環境の整備について

入学案内のパンフレットでも紹介していますが、本学における通信教育部の学生への学習サポートの中心となるのは『Chu-Navi』(チューナビ)と称するwebシステムです。学習状況・成績の確認、各種事務手続き、連絡事項の確認、教員や事務局への質問、教材や様式のダウンロードなど様々な機能があります。

ご自宅の学習環境としては以下をご準備ください。

- ① インターネットの接続環境があること。
- ② パソコン(マイク・スピーカー・カメラ機能があるもの)、プリンターがあること。
- ③ 大学から発信される緊急連絡などを確認するためのメールアドレスがあること。

本学では希望者に対して「郵送対応」という有料オプションがあり、希望者には学習ガイドブック冊子や様式集を送付し、各種手続きを郵送で受け付けることも行っています。この有料サービスは今後廃止または見直しを図る可能性があります。したがって本学への入学準備に向けては基本的上記①～③の学習環境を整えてください。自宅学習は本学のWeb学習支援システム『Chu-Navi』をベースに進めることについてご通知おきください(スマートフォンでも情報の閲覧や一部手続きが可能)。

ア) **自宅で受講可能なオンラインスクーリング(例: Zoom 利用)を一部科目で開講しています。**また、緊急時(新型コロナウイルスへの対応や台風等の災害)において急ぎょオンラインで対応する可能性もあります。これらの場合、①②の環境がない方については受講ができません。

イ) 大学からのお知らせは基本的に『Chu-Navi』(チューナビ)に掲示されます。**緊急や重要な連絡については、学生が登録したメールアドレスに転送することがあります。**③の環境がない場合は、重要なお知らせをすぐに確認できないことが懸念されます。

ウ) プリンターは「郵送対応」(有料オプション)の学生を除き、受講許可証や受験票、各種様式を出力するために必要です。

パソコン・通信推奨環境について(2024年10月現在)※購入を検討している方は、以下をご参照ください。

<input type="checkbox"/> OS	Windows10 または Windows11 ※デスクトップモード ※ MacOS や Chromebook など上記以外の OS については動作保証をしておりません。 ※ Windows10は2025年10月にサポートが終了します。 デュアルコア2Ghz 以上(Intel i3/i5/i7 または AMD と同等)
<input type="checkbox"/> CPU	
<input type="checkbox"/> メモリ	4GB 以上
<input type="checkbox"/> ディスプレイ	XGA (1024×768)以上
<input type="checkbox"/> ブラウザ	Edge 最新版
<input type="checkbox"/> ソフトウェア	Microsoft Office ※ Microsoft 以外の文書ソフトを使用して作成したレポート課題等をデータ提出する場合には、PDF データに変換していただく必要があります。 Adobe Acrobat Reader 最新版(無償提供されています)
<input type="checkbox"/> その他	スピーカー、マイク、ウェブカメラ ※ Zoom を利用した一部のオンラインスクーリングやガイダンス等に参加する際に必要となります。
<input type="checkbox"/> 通信環境	回線速度10Mbps 以上

※パソコンやインターネットに関する最新の推奨環境については、本通信教育部ホームページにて「入学案内」のページをご確認ください。

正科生の単位認定（包括・個別）

1 単位認定について

本学入学前に大学・短期大学等で修得した授業科目の単位や取得されている資格などを、本学の授業科目の単位として認定することを「単位認定」といいます。単位認定は包括認定と個別認定に分類されます。

包括認定

編入生に対し、一定の単位数をまとめて認定するしくみを「包括認定」としています。出願者は単位認定申請をすることで(3年次編入学は「様式⑦3年次編入学用」の提出)、下記の単位数の認定を受けることができます。包括認定に係る単位認定手数料は不要です。

入学種別	入学時認定単位数 ()内はスクーリング単位数で内数	入学後、卒業に必要な単位数
3年次編入学	62 (14) 単位 (包括認定)	62 (16) 単位
4年次編入学	92 (22) 単位 (包括認定)	32 (8) 単位

※3年次編入生は、62単位の内、14単位をスクーリング単位として認定します。ただし、通信制の大学・短大を卒業等して編入学する場合のスクーリング単位の認定は10単位です。

※4年次編入生の既修得単位認定は、「4年次編入学・再入学等出願要項」を参照してください。

個別認定

本学以外での修得科目の単位認定

本学以外の大学・短期大学で修得した個別の科目の単位を、審査のうえ本学の授業科目の単位として認定できる場合があります。社会福祉士及び精神保健福祉士の指定科目に関しては、同養成課程の大学で修得した科目である必要があります。それ以外の科目は、修得した大学のシラバスの提出が必要になります。単位の認定には手数料(1科目¥3,000)がかかります。

3年次編入生は上記の包括認定により62単位が認定されますので、他大学等で修得した個別科目の単位認定申請を行う必要はありません(認定単位数の上乗せはありません)。

保有資格の単位認定

特定の資格を保有していることで、本学の授業科目の単位として認定することができます。但し、単位の認定には手数料(1科目¥3,000)がかかります。資格と認定する個別科目との関係は次ページの通りです。

2 単位認定における諸注意

①単位認定された科目の表記について

単位認定された科目の成績証明書等への表記は原則として「N」(認定)となります。

なお、認定結果は、合格発表時に仮通知の形式で通知します。入学手続時の履修登録の際に認定結果を参考にしながら、履修登録を行うことになります。

②社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の単位認定について

本学以外の大学・短期大学等で社会福祉士及び精神保健福祉士指定科目の単位を修得している場合は、4年制大学の同養成課程で修得した単位である場合に限り、単位認定を行える可能性があります。

ただし、3年次編入学により社会福祉士や精神保健福祉士の受験資格取得を希望する方は、同資格に係る指定科目は原則的すべて本学で修得することを推奨しています。

単位認定を申請する場合は、当該単位を修得した大学の「指定科目履修証明書」(国家試験受験用の「指定科目履修証明書」、もしくはそれに準じる書式)をご提出ください。

③「保有資格の単位認定」における留意事項

本学入学前に下記に該当する資格を取得している場合は、本通信教育部の単位(科目)として認定できます。申請するには、単位認定申請票(様式⑦)に必要事項を記入の上、出願書類に同封してください。なお、当該資格を取得していることを証明する書類(資格証明書のコピー等)の添付が必要です。

【保有資格の単位認定一覧表】 P18も確認してください。

対象資格	認定単位数	認定対象科目		
		1年次入学生 (2021カリキュラム)	3年次編入生 (2021カリキュラム)	
情報処理技術者試験2級(以上) 基本情報技術者試験合格(以上) システムアドミニストレーター初級(以上) ITパスポート	合計2単位	<input type="checkbox"/> 情報活用論 A または情報活用論 B		
MOS 検定(Excel2010以降のみ)		<input type="checkbox"/> 情報活用論 A		
文部科学大臣認定スポーツ指導者資格 厚生労働大臣認定健康運動指導士 及び健康運動実践指導者資格	合計1単位	<input type="checkbox"/> 身体による表現活動 (スポーツ実技)		
実用英語技能検定2級(以上) 国際連合公用語英語検定試験 C 級以上 TOEIC470 点(以上) TOEFL450 点(以上)	合計2単位	<input type="checkbox"/> 言語による表現活動 (コミュニケーション英語)		
看護師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 視能訓練士 義肢装具士	合計8単位	<input type="checkbox"/> 医学知識 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A <input type="checkbox"/> 人間福祉論 B <input type="checkbox"/> 人間福祉論 C	<input checked="" type="checkbox"/> 医学知識 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A <input type="checkbox"/> 人間福祉論 B <input type="checkbox"/> 人間福祉論 C	
保育士	合計4単位	<input type="checkbox"/> 児童・家庭福祉論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・家庭福祉論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか	
社会福祉士 精神保健福祉士	合計24単位	<input type="checkbox"/> 社会福祉概論 <input type="checkbox"/> 社会保障論 <input type="checkbox"/> 地域福祉論 <input type="checkbox"/> 権利擁護と成年後見制度 <input type="checkbox"/> 障害者福祉論 <input type="checkbox"/> 医学知識 <input type="checkbox"/> 心理学 <input type="checkbox"/> 社会理論と社会システム	<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉概論 <input checked="" type="checkbox"/> 社会保障論 <input checked="" type="checkbox"/> 地域福祉論 <input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護と成年後見制度 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者福祉論 <input checked="" type="checkbox"/> 医学知識 <input checked="" type="checkbox"/> 心理学 <input checked="" type="checkbox"/> 社会理論と社会システム	
い ず れ か の み 認 定	①グループ 介護福祉士 介護支援専門員	合計6単位	<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論 <input type="checkbox"/> 介護概論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者福祉論 <input type="checkbox"/> 介護概論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか
	②グループ 訪問介護員1級 介護職員基礎研修修了 介護職員実務者研修修了	合計4単位	<input type="checkbox"/> 介護概論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか	<input type="checkbox"/> 介護概論 <input type="checkbox"/> 人間福祉論 A～Cのいずれか

※資格を取得した年度により認定科目が変更される場合があります。
※■の科目については、次ページで単位認定の取扱いを確認してください。

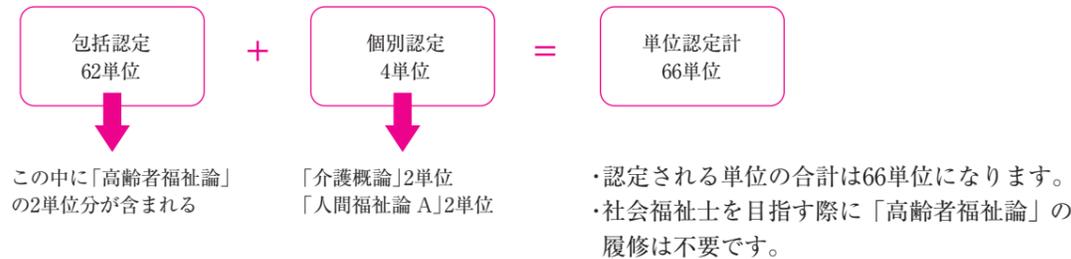
要確認 「保有資格の単位認定」のしくみ

ア) 3年次編入学生の場合

3年次編入学生は、入学手続き時に包括認定(62単位)と保有資格による単位認定等について仮認定し、その内訳を通知します。通知書にて認定される科目と単位数を再確認したうえで入学後の履修(授業科目の申込)を行う流れになります。前頁の表で■印の科目の単位は、包括認定の内数として認定します。

内数となる科目の単位認定は卒業要件単位の軽減にはなりません、資格取得に向けた科目の単位として認められます。

例) 3年次編入学生が介護福祉士資格で「保有資格の単位認定」を申請した場合



イ) 単位認定手数料

個別の単位認定には、手数料(3,000円/1科目)の納入が必要です。手数料の納入時期は、単位が認定された後(申請時ではありません)となります。

また、単位が認定された場合でも次の場合は手数料の納入は免除となります。

- 編入による単位認定の場合※
- すでに本学で修得した単位を認定する場合
- すでに履修登録(有効期間中に限る)している科目を認定する場合
- その他、特に認める場合

※3年次編入学生の場合、包括認定の内数として認定される■印の科目の単位認定手数料は免除されます。

例①) 3年次編入学生が介護福祉士資格で「保有資格による個別科目認定」を申請した場合

「高齢者福祉論」(手数料免除)、「介護概論」「人間福祉論 A」(手数料6,000円)

例②) 1年次入学生が介護福祉士資格で「保有資格による個別科目認定」を申請した場合

「高齢者福祉論」「介護概論」「人間福祉論 A」(手数料9,000円)

例③) 3年次編入学生が介護福祉士と保育士資格で「保有資格による個別科目認定」を申請した場合

「高齢者福祉論」「児童・家庭福祉論」(手数料免除)、
「介護概論」「人間福祉論 A」「人間福祉論 B」(手数料9,000円)

例④) 3年次編入学生が看護師資格で「保有資格による個別科目認定」を申請した場合

「医学知識」(手数料免除)
「人間福祉論 A」「人間福祉論 B」「人間福祉論 C」(手数料9,000円)

ウ) 個別認定の必要性について

保有資格の単位認定を受けるメリットは入学後の学習量と履修授業料(履修科目数)の負担軽減です。保有資格に対し単位認定される科目や単位数が学生自身のメリットにはならない場合もあります。自分の目標や資格に対して必要な科目と単位数を確認(P23～26参照)し、申請の可否を判断するようにしてください。

なお、保有資格の単位認定申請は入学手続き後に行うこともできます。

4 単位認定の申請について

①申請方法

単位認定の申請は、募集要項に綴られている「単位認定申請票」(様式⑦)に必要事項を記入し提出してください。

なお、「単位認定申請票」は1年次入学用と3年次編入学用に分かれています。

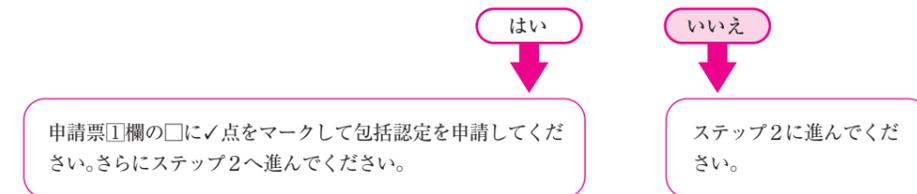
1年次入学生:提出は任意です。入学時認定を申請する場合に限り「単位認定申請書」を提出してください。

3年次編入学生:提出は必須です。必ず様式⑦(3年次編入学用)を提出してください。

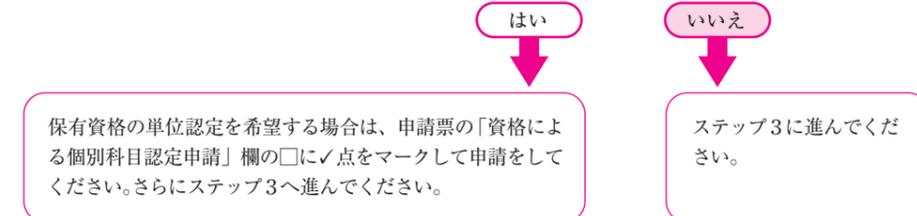
②単位認定申請票の記入方法

次のチェック表から該当する申請項目を確認して「単位認定申請票」(様式⑦)を記入してください。

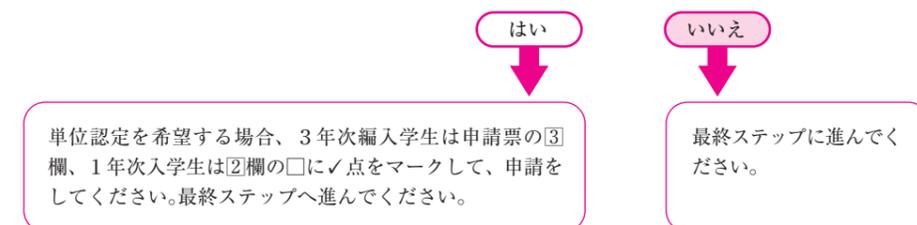
ステップ1 → あなたは3年次編入学に出願予定ですか？



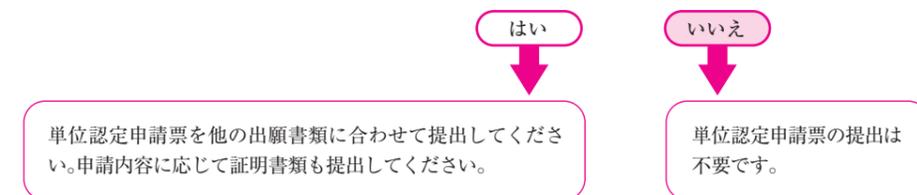
ステップ2 → 本学入学前にP17の表に記載した資格等をすでに取得していますか？ またその資格によって単位認定される科目は、卒業や取得希望資格に必要ですか？



ステップ3 → 1年次入学希望の方で、他大学で修得済の単位がありますか？ 3年次編入学希望の方で、他大学で修得済の社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目(注1)の単位がありますか？



最終ステップ → 上記の1～3のステップにおいて「はい」の項目が一つ以上ありましたか？



(注1) 単位を修得した大学が発行する各資格の「指定科目履修証明書」の提出が必要になります。通常の証明書や単位修得証明書では申請できません。

実習の免除に関する手続きについて

社会福祉士・精神保健福祉士の実習に関する内容です

社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を得るためには、実習科目を履修する必要がありますが、一定の条件を満たした方は実習科目の履修を免除(以下、実習免除)することができます。

実習免除となるためのポイント

- ①本学入学前までに指定施設において1年以上の相談援助業務の実務経験があること
- ②上記について該当施設の代表者から証明を受けられること

補足説明

本学入学前、1年以上とは？	本学入学前(当年3月31日)までに通算で1年以上の実務経験が必要になります。在学中の実務経験は算入できません。
指定施設とは？	相談援助業務の範囲については、法律で定められた施設種類および実務経験として認められる職種が取り決められています。本学ではその定めに基づき、「実習科目履修免除申請の手引」の中で、対象となる業種・職種等の要件を示しています。
相談援助業務とは？	
証明とは？	実習免除を受ける際の申請にあたり、その内容に間違いがないことを「実務経験証明書」によって該当施設から証明を受ける必要があります。

対象となる施設(機関)・職種について

実習免除の対象となる施設・職種については、公益財団法人社会福祉振興・試験センターのホームページ(各資格のページの「よくあるご質問」)のなかで示されています。本学における「実習科目履修免除申請の手引」もその内容に準じていますが、職種が「その他」となる場合については本学では原則として対象としておりませんので、ご注意ください。

なお、本学入学向け「実習科目履修免除申請の手引」は募集年度の冊子が完成しましたら、本学通信教育部ホームページ内で情報を更新・掲載します。

本学 HP で「実習科目履修免除申請の手引」を閲覧・ダウンロードできます。

右の QR コードから該当ページを閲覧できます →



免除を受けるための手続きについて

申請時期は①出願と同時に申請、②出願後から入学年度の6月末までの間に申請、のどちらかになります。入学年度の6月末以降は申請できません。

出願時に免除申請を行う場合には、出願書類とは別に「実習科目履修免除申請の手引」を本学通信教育部ホームページよりダウンロードあるいは冊子を取り寄せ、所定様式により申請書および証明書類を提出する必要があります。

なお、出願前の申請受付および審査は行っていません。

免除の範囲について

区分	免除科目(2021カリキュラム)
社会福祉士の指定科目	ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導
精神保健福祉士の指定科目	精神保健福祉実習、精神保健福祉実習指導

留意点

- 1) 実習の免除申請は国家試験受験資格に関わる重要な申請です。申請された内容が事実と異なった場合には、「試験センター※」の権限により受験資格が得られないことや、資格取得後に資格を取り消されることがあります。このような場合、本学ではその責任を負いかねますので免除申請に際しては細心の注意を払う必要があります。

※公益財団法人社会福祉振興・試験センター。厚生労働省の指定を受けた指定試験機関・指定登録機関です。

- 2) 実習の免除 = 実習科目の単位認定ではありません。実習の免除者は実習科目の単位を修得できません。そのことにより卒業のために必要な総単位数が不足する場合には、他の科目を履修し、単位修得して充足する必要があります。

コース制度(正科生)について

① コースと履修科目

本学では、次の資格等を取得することが可能です。学生のみさん一人ひとりにきめ細かな学習支援を行うため、取得を目指す資格を“コース”として位置づけ、事前に申請する制度を設けています。

各コースの登録は出願・入学手続きの中で行います。コースは複数を選択することができ、入学後に追加や削除も行えます。ただし、精神保健福祉士コースは、入学前に実施するコース選抜選考に合格する必要があります(P22参照)。

取得を目指す資格	コース名
a) 社会福祉士(受験資格).....	社会福祉士コース
b) 精神保健福祉士(受験資格).....	精神保健福祉士コース
c) 認定心理士.....	認定心理士コース
d) 中部学院大学アグリケアコース修了証.....	アグリケアコース
e) 広く福祉について学ぶ.....	福祉教養コース

※社会福祉主事(任)、知的障害者福祉司(任)、児童福祉司(任)、児童指導員(任)は、どのコースを選択していても本学の卒業と同時に取得可能です。

コース科目について

コース科目を設けています。以下の科目は、それぞれのコースに所属した場合に限り履修可能です。すべての開講科目は P24 ~ を参照してください。

●正科生(2025年度1年次入学生・3年次編入学生・4年次編入生)

コース名	コース科目 (例:ソーシャルワーク演習(専門)I...社会福祉士コースの学生のみが履修登録できます)
社会福祉士	・ソーシャルワーク演習(専門)I ・ソーシャルワーク実習指導 ・ソーシャルワーク演習(専門)II ・ソーシャルワーク実習
精神保健福祉士	・精神保健福祉の理論と方法(専門)・精神障害リハビリテーション論 ・精神保健福祉の原理 ・精神保健福祉制度論 ・精神保健福祉演習I/II ・精神保健福祉実習指導 ・精神保健福祉実習
認定心理士	・心理学研究法 ・心理学実験 A/B
アグリケア	・農業の基礎知識 ・農業福祉論 ・農業実践 ・農福連携コーチング演習

※認定心理士とアグリケアのコース科目は科目等履修生も履修可能です。

社会福祉士コースについて

本学で社会福祉士受験資格を取得するには、「社会福祉士コース」に所属する必要があります。

社会福祉士コース

コース定員	200名
学生の種類	正科生(編入学含む)

◆社会福祉士コースへの所属は希望制です。選抜はありません。

精神保健福祉士コースについて (正科生〈4月入学生〉のみ選抜)

1 精神保健福祉士コース

本学で精神保健福祉士受験資格を取得するには、「精神保健福祉士コース」に所属する必要があります。

精神保健福祉士コース

コース定員	80名
学生の種類	正科生(編入学含む)

2 精神保健福祉士コースの選抜について

精神保健福祉士コースへの入学は本通信教育部入学選考にあわせて「精神保健福祉士コース選抜選考」に合格する必要があります。選抜の概要は次のとおりです。

①出願期間・合格発表日

第1期から第5期までの出願期間に準じます。(P3参照)

なお、合否発表は入学選考結果にあわせて郵送により通知します。

②コース説明映像の視聴(必須)

精神保健福祉士コースへ出願する場合は、出願者本人が「精神保健福祉士コース説明映像」(以下「説明映像」と表記)を視聴し、その内容を踏まえて「精神保健福祉士コース選抜志願書」を作成する必要があります。「説明映像」の内容は精神保健福祉士の歴史・制度や役割について解説しています。また、本学において精神保健福祉士受験資格を取得するための留意点を説明します。

③コース説明映像の視聴方法

説明映像の視聴方法は、「通信教育部入学説明会」や通信教育部事務課にて案内しますので、視聴希望者は「通信教育部入学説明会」に参加するか、通信教育部事務課へ直接ご連絡ください。入学説明会の日程・会場については、別途リーフレットや本学通信教育部のホームページで案内している入学説明会の開催日程を参照の上、ご希望の日程に参加してください。

④精神保健福祉士コースプレ選抜(10月入学)

精神保健福祉士コースの選抜は10月入学では行いません。ただし、10月入学では科目等履修生として一旦入学し、翌年度4月入学で正科生として再入学を検討しているみなさんに向けて精神保健福祉士コースプレ選抜を10月入学前に行います。

この「プレ選抜」の合格者は翌年4月に正科生として出願(再入学)する際の精神保健福祉士コースの選抜受験が不要となります。詳しくは、10月入学前の入学説明会等でご確認ください。

3 精神保健福祉士コース選抜志願書について

精神保健福祉士コースの選考は、「精神保健福祉士コース選抜志願書」(様式⑤)により選抜します。「精神保健福祉士コース選抜志願書」は出願時に提出となります。

4 その他

選抜に合格し、精神保健福祉士コースに入学した場合でも、社会福祉士受験資格等の他の資格取得を目指すコースに所属することは可能です。

認定心理士・その他のコースについて

認定心理士コース・アグリケアコース・福祉教養コース(希望資格なし)への所属は希望制となります。選抜は行っていません。

なお、科目履修生の方は資格の取得希望に応じて認定心理士やアグリケアのコース科目を履修することができます。

【重要】

科目等履修生(大卒者)として認定心理士の資格取得を目指す場合は、資格に必要な全科目の学習順序や学習量を踏まえると1年半~2年が標準的な学習期間となります。学習計画により1年での取得も可能ですが、スクーリングを含む綿密な学習スケジュールが必要となります。なお、科目等履修生は学籍更新により複数年数に渡って学習を進めることが可能です。

開講科目表について

授業科目の選択は学生個々の目的や希望に沿って自分で選択します。開講科目表の各項目の意味、内容については下記を参考にしてください。出願受付後には、さらに詳細を記した学習の手引を送付します。

開講科目表[P24~P26]の見方

A 科目群

大きくは「基礎教育系Ⅰ」「基礎教育系Ⅱ」「専門教育系」の3つの群に分かれており、卒業に必要な単位数も群ごとに設定されています。

D 卒業必修

その名のとおり、卒業のために必ず修得しなければならない科目です。なお、1年次入学生と3年次編入生では、卒業必修科目が一部異なります。

B 単位数

それぞれの科目毎に定められた単位数(学習量)を示しています。また、()の数はスクーリングによって修得できる単位数を示しています。例として「キリスト教概論 4(2)」は4単位の科目であり、そのうちの2単位はスクーリング単位となります。

F 資格取得履修

それぞれの資格を取得するために必要な科目に◎がつけられています。色付きとなっている科目については、その資格を取得するコースに所属する学生のみ履修可能です。なお社会福祉士・精神保健福祉士は受験資格です。

C 履修形態

履修形態については、それぞれの科目がどのような方法で実施されるかを記号で示しています。

また、複数の履修形態を組み合わせた科目はその順序も示しています。記号が示す履修形態は以下のとおりです。

【履修形態の記号と意味】

R: レポートを作成し提出する(自宅学習)

S: スクーリングを受講する(対面形式の授業、スクーリング内で修了試験も実施)

J: 実習

T: 科目修了試験(会場で受験)

B: 放送授業(収録授業のインターネット視聴)

P: 小テスト

【履修形態の組み合わせ例】

RT: レポート(自宅学習)→合格→科目修了試験

RRT: 2回のレポート(自宅学習)→合格→科目修了試験

RS: レポート(自宅学習)→合格→スクーリング

BPT: 放送授業(自宅学習)→小テスト(自宅学習)→科目修了試験

授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料 (スクーリング料)
					社会福祉士	精神保健福祉士	心理士	アグリケア	
基礎教育系Ⅰ									
人間理解									
キリスト教概論	4(2)	RS	必修※	1年					20,000(10,000)
倫理学の基礎	4	RRT		2年					20,000
情報リテラシー入門	1(1)	S		1年					5,000(5,000)
身体による表現活動(スポーツ実技)	1(1)	S		1年					5,000(5,000)
言語による表現活動(コミュニケーション)	2(1)	RS		1年					10,000(5,000)
日本国憲法	4	RRT		1年					20,000
法学入門	2(2)	S		1年					10,000(10,000)
スポーツ科学論	2	RT		2年					10,000
生命倫理	4	RRT		2年					20,000
死生学	2	RT		1年					10,000
キリスト教福祉論	2	RT		1年					10,000
ターミナルケア論	2	RT		3年					10,000
ボランティア活動論	4	RRT		2年					20,000
情報活用論A	2(2)	S		2年					10,000(10,000)
情報活用論B	2(2)	S		3年					10,000(10,000)
国際交流	2	RT		2年					10,000
基礎教育系Ⅱ									
心理学	4	RRT		1年	◎	◎	◎		20,000
	4(2)	RS							20,000(10,000)
社会学	2	RT		1年	◎	◎			10,000
社会理論と社会システム	2(2)	S							10,000(10,000)
医学知識	2	RT		2年	◎	◎			10,000
経済学	4	RRT		2年					20,000
行政学	2	RT		1年					10,000
介護概論	2	RT		1年					10,000
課題研究Ⅰ	2(1)	SR	必修	1年					10,000(5,000)
課題研究Ⅱ	2(1)	SR	必修※	1年					10,000(5,000)
専門基礎科目									

※「キリスト教概論」、「課題研究Ⅱ」の卒業必修については、正科生1年次入学生のみ対象。

2025年度 開講科目一覧表 [2021カリキュラム]

卒業要件科目 (卒業要件単位数に含まれる科目)

基礎教育系	授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料 (スクーリング料)	
						社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	アグリケア		
基礎教育系 I	人間理解 基礎科目	キリスト教概論	4 (2)	RS	必修※	1年				20,000 (10,000)	
		倫理学の基礎	4	RRT		2年				20,000	
	表現関連科目	自己実現科目	情報リテラシー入門	1 (1)	S		1年				5,000 (5,000)
			身体による表現活動(スポーツ実技)	1 (1)	S		1年				5,000 (5,000)
		言語による表現活動(コミュニケーション類)	2 (1)	RS		1年				10,000 (5,000)	
	専門基礎科目	科学科目	日本国憲法	4	RRT		1年				20,000
			法学入門	2 (2)	S		1年				10,000 (10,000)
			スポーツ科学論	2	RT		2年				10,000
			生命倫理	4	RRT		2年				20,000
	基礎教育系 II	人間理解 基礎科目	死生学	2	RT		1年				10,000
		キリスト教福祉論	2	RT		1年				10,000	
		ターミナルケア論	2	RT		3年				10,000	
表現関連科目		自己実現科目	ボランティア活動論	4	RRT		2年				20,000
			情報活用論A	2 (2)	S		2年				10,000 (10,000)
			情報活用論B	2 (2)	S		3年				10,000 (10,000)
			国際交流	2	RT		2年				10,000
専門基礎科学科目		心理学	4	RRT		1年	○	○	○		20,000
			4 (2)	RS							20,000 (10,000)
		社会理論と社会システム	2	RT		1年	○	○			10,000
	2 (2)		S							10,000 (10,000)	
	医学知識	2	RT		2年	○	○			10,000	
	経済学	4	RRT		2年					20,000	
	行政学	2	RT		1年					10,000	
	介護概論	2	RT		1年					10,000	
	課題研究 I	2 (1)	SR	必修	1年					10,000 (5,000)	
	課題研究 II	2 (1)	SR	必修※	1年					10,000 (5,000)	

※「キリスト教概論」、「課題研究II」の卒業必修については、正科生1年次入学生のみ対象。

専門教育系	授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料 (スクーリング料)
						社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	アグリケア	
専門基礎科目	社会福祉概論	4 (2)	RS	必修	1年	○	○		○	20,000 (10,000)
	高齢者福祉論	2	RT		1年	○				10,000
		2 (2)	S							10,000 (10,000)
		2 (2)	BPT							10,000 (10,000)
	障害者福祉論	2	RT		2年	○	○		○	10,000
		2 (2)	S							10,000 (10,000)
		2 (2)	BPT							10,000 (10,000)
	児童・家庭福祉論	2	RT		1年	○				10,000
		2 (2)	S							10,000 (10,000)
		2 (2)	BPT							10,000 (10,000)

専門教育系	授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料 (スクーリング料)	
						社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	アグリケア		
専門基礎科目	社会保障論	4 (2)	RS	必修	3年	○	○			20,000 (10,000)	
		4 (2)	RBPT							20,000 (10,000)	
	公的扶助論	2	RT		3年	○				10,000	
	地域福祉論	4 (2)	RS	必修	2年	○	○		○	20,000 (10,000)	
		4 (2)	RBPT							20,000 (10,000)	
	専門基礎科目	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	RT		1年	○	○		○	10,000
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2 (2)	S		2年	○				10,000 (10,000)
		ソーシャルワークの理論と方法	4	RRT		3年	○	○			20,000
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)	4 (2)	RS		3年	○				20,000 (10,000)
		保健医療と福祉	2	RT		2年	○				10,000
		社会福祉調査の基礎	2	RT		2年	○	○			10,000
		福祉運営管理論	2	RT		3年	○				10,000
		権利擁護と成年後見制度	2	RT		2年	○	○			10,000
		刑事司法と福祉	2	RT		2年	○	○			10,000
		精神保健福祉の理論と方法(専門)	4	RRT		3年		○			20,000
	精神医学	4	RRT		1年		○			20,000	
	精神保健学	4	RRT		1年		○	△		20,000	
	精神障害リハビリテーション論	2	RT		2年		○			10,000	
	精神保健福祉の原理	4 (2)	RS		2年		○			20,000 (10,000)	
	精神保健福祉制度論	2	RT		2年		○			10,000	
社会保険とソーシャルワーク	2	RT		2年					(未開講)		
専門基礎科目	人間福祉論 A・B・C	2	RT		1年					10,000	
		2 (2)	S							10,000 (10,000)	
	リハビリテーション論	2	RT		3年					10,000	
	高齢者の心理	2	RT		1年					10,000	
	障害者の心理	2	RT		2年			△		10,000	
	スクールソーシャルワーク論	2	RT		2年					10,000	
		2 (2)	S							10,000 (10,000)	
	スーパービジョン論	2 (2)	S		4年					10,000 (10,000)	
	教育心理学	4	RRT		3年			△		20,000	
	教育相談	2	RT		3年			△		10,000	
心理学研究法	4 (2)	RS		1年			○		20,000 (10,000)		
心理学実験 A	2 (1)	SR		2年			○		10,000 (5,000) *		
心理学実験 B	2 (1)	SR		3年			○		10,000 (5,000) *		
学習心理学	2	RT		2年			△		10,000		
生理心理学	4	RRT		3年			△		20,000		
臨床心理学	4 (2)	RS		3年			△		20,000 (10,000)		
福祉への心理学的アプローチ	2 (2)	S		1年			△		10,000 (10,000)		
社会心理学	4	RRT		2年			△		20,000		
カウンセリング論	2 (2)	S		3年			△		10,000 (10,000)		

- ◆「資格取得履修」欄には、当該資格を取得する上で必修科目となるものを○、選択科目となるものを△でそれぞれ表記しています。
- ◆履修科目一覧の中の「履修授業料」に*が記されている科目は、授業料の他に、実習費や履修費等が必要になります。
- ◆□色付きとなっている科目は該当資格のコース所属者のみ履修可能です。
- ◆認定心理士の資格取得のためには、△印の10科目から24単位以上の修得が必要(ただし精神保健学は2単位として計算)。

募集・出願の基本情報 ①
出願手続き ②
単位認定・実習免除 ③
コース制と留意点 ④
開講科目 ⑤
学費・減免制度等 ⑥
Q & A ⑦

募集・出願の基本情報 ①
出願手続き ②
単位認定・実習免除 ③
コース制と留意点 ④
開講科目 ⑤
学費・減免制度等 ⑥
Q & A ⑦

学費等について

本通信教育部では、一人ひとりに合わせて学ぶ科目を決め、計画的に学習することを大切にするため、「授業料」を「基本授業料」と「履修授業料」の2種類で運用しています。「基本授業料」は、定額(年額)を納めます。「履修授業料」は、その年度に学ぶ履修登録科目の単位数に応じて、単位数分の授業料を一括で納めます。

●学生種別と学費

正 科 生		2025年度	2026年度以降
選考料(出願時)		10,000円	10,000円
入学金(入学時)		20,000円	30,000円
授業料	基本授業料(年額)	31,000円	36,000円
	履修授業料(1単位)	5,000円	5,500円
スクーリング料(1単位)		5,000円	5,000円
その他		教科書代等	教科書代等

科目等履修生・特修生・聴講生		2025年度	2026年度以降
選考料(出願時)		10,000円	10,000円
入学金(入学時)		10,000円	20,000円
授業料	基本授業料(年額)	10,000円	20,000円
	履修授業料(1単位)	5,000円	5,500円
スクーリング料(1単位)		5,000円	5,000円
その他		教科書代等	教科書代等

【学費の改定について】

上記のとおり、2026年度から学費を改定し、2025年度入学生の方にも適用されます。従って入学初年度(2025年度)と入学2年目以降(2026年度以降)では、基本授業料・履修授業料が異なりますので、ご注意ください。

※選考料は出願前、入学金(入学時)と基本授業料(年額)は入学手続き時の振り込みとなります。
 ※履修授業料は基本的に春期または秋期の履修科目登録完了後に、登録口座から引き落としとなります。
 ※スクーリング料は各スクーリング後に順次登録口座から引き落としとなります。
 ※一旦納入された学費等は一切返還いたしません。学費は2027年度以降も年度単位で改定する場合があります。

実習費等、諸費用について

①実習費(2024年度実績)

実習費は社会福祉士受験資格や精神保健福祉士受験資格などの資格取得を目指す場合に必要となる実習費用です。実習費は実習科目を履修する際に履修授業料とは別に納入が必要となります。

実習名(対象資格)	実習指導費	実習委託費	実習費合計
ソーシャルワーク実習(社会福祉士)	67,000円	48,000円	115,000円
精神保健福祉実習(精神保健福祉士)	59,000円	42,000円	101,000円

※実習費は在学中に改定が行われる場合があります。
 ※実習委託費は実習先施設・機関との契約に基づき実習先に支払われる費用です。上記の額を超える委託費が必要になる場合には、不足分の実習委託費をお支払いいただく場合があります。
 ※実習の一部免除の適用を受ける場合は、実習委託費が減免される場合があります。
 ※実習先により健康診断書の提出や食費等の雑費が必要となる場合は、実習生の自己負担となります。

②教科書代(実費)

③「桐華会」年会費:1,000円(在学生は必ず加入)

「桐華会」は学生相互の親睦を図ることを目的とした通信教育部の学生会です。「桐華会」では学習効果の向上と親睦を図るため、次のような事業を行います。

- 1) 学生間の連絡と大学からの情報提供等からなる機関誌「桐華」の発行
- 2) 学生会の親睦のための交流会を開催
- 3) 地区毎に相談会・交流会を開催
- 4) 大学行事(大学祭など)への参加
- 5) その他

授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料(スクーリング料)
					社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	アグリケア	
ソーシャルワーク演習	1(1)	S		2年	○	○			5,000(5,000)
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	3(1)	RS		3年	○				15,000(5,000)
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	1(1)	S		3年	○				5,000(5,000)
ソーシャルワーク実習指導	2(2)	RSJ		2~4年	○				10,000(10,000)
ソーシャルワーク実習	5	J		3~4年	○				25,000*
精神保健福祉演習Ⅰ	2(1)	RS		2年		○			10,000(5,000)
精神保健福祉演習Ⅱ	1(1)	S		3年		○			5,000(5,000)
精神保健福祉実習指導	2(2)	RSJ		2~4年		○			10,000(10,000)
精神保健福祉実習	4	J		3~4年		○			20,000*
総合研究	4(2)	SRS		2年					20,000(10,000)
卒業研究Ⅰ	6(2)	SRS		3年					30,000(10,000)
卒業研究Ⅱ	6(2)	SRS		4年					30,000(10,000)

中部学院大学アグリケアに関する専門科目 (卒業要件単位数には含まれません)

授業科目	単位数	履修形態	卒業必修	配当年次	資格取得履修				履修授業料(スクーリング料)
					社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	アグリケア	
農業の基礎知識	2	RT		2年				○	10,000
農業福祉論	2	RT		2年				○	10,000
農業実践	1(1)	S		1年				○	5,000(5,000)
農福連携コーチング演習	2(1)	SR		1年				○	10,000(5,000)

卒業までに必要な単位数・スクーリング単位数

区分	1年次入学生	3年次編入学生	備考
総単位数(下記の合計)	124単位以上	62単位以上(62単位)	
科目群別の要件	基礎教育系Ⅰ	0単位以上(20単位)	卒業要件は総単位数だけでなく、科目群別に必要な単位数や卒業必修科目も設定されています。3年次編入学生については、入学時に包括認定される予定の単位数〔()内に表記〕を差し引いて示しています。
	基礎教育系Ⅱ	12単位以上(12単位)	
	専門教育系	50単位以上(30単位)	
スクーリング単位数	30単位以上	16単位以上(14単位)	修得する総単位の内数として、左記のスクーリング単位数が必要です。
卒業必修科目数	6科目	4科目	必修科目は開講科目表を参照してください。

※個別の単位認定状況によって、必要な単位数は変動する場合があります。

選考料・入学金の減免制度について

本学院卒業生等に対する選考料・入学金減免

中部女子短期大学など本学院の卒業生や在籍生が本通信教育部に入学する際は学費の補助として、入学金・選考料の一部または全額が免除されます。

この該当条件は、在籍時の学生種別や本通信教育部へ入学する際の志望する学生種別によって細かく定められています。詳しくは、下記の④を参照してください。

①選考料・入学金減免の申請方法

募集要項の「選考料・入学金減免申請」(様式⑧)に必要な事項を記入してください。審査の上、制度の利用条件を満たす場合には学費免除を踏まえた「入学金・基本授業料振込票」を入学手続き書類に同封しますので、所定の期間に学費等を納入してください。なお、出願時に選考料を納入する必要はありません。

出願時点で「郵便振替払込受付証明書」を添付する必要はありません。一旦、選考料の払込をされますと減免に該当する場合でも選考料の返還はできません。

②証明書発行代行と手数料の免除について

下表 2 に該当する方(中部女子短期大学の卒業生等)が、通信教育部に出願する場合には、出願時に提出が必要となる卒業証明書と成績証明書(編入生のみ)の発行代行制度があります。この制度では通信教育部事務課が学内担当課より卒業証明書・成績証明書(編入生のみ)の発行手続きを代行します。このため申請者のみの方は、証明書を取り寄せる必要がなく、手数料も免除されます。

③注意事項

選考料・入学金減免の対象となる要件を満たしている場合でも、出願時に上記の申請がない場合は、この適用は受けられませんので、該当する方は必ず申請してください。

④免除の対象となる場合

1 本学通信教育部に在籍していた方

a) 正科生として在籍していた方が正科生に再入学	入学金	全額免除	選考料	全額免除
b) 科目等履修生として在籍していた方が正科生に再入学		半額免除		全額免除
c) 科目等履修生として在籍していた方が科目等履修生に再入学		全額免除		全額免除
d) 正科生として在籍していた方が科目等履修生に再入学		全額免除		全額免除
e) 特修生及び聴講生として在籍していた方が正科生に再入学		半額免除		-

上記の科目等履修生の内、10月入学生が翌年の4月入学に正科生として通信教育部に再入学した場合は、基本授業料のうち10,000円が免除されます。

2 中部学院大学(※1)・中部学院大学短期大学部(※2)に在籍していた方

a) 通学課程の正規生として在籍していた方が正科生・科目等履修生に入学	入学金	全額免除	選考料	全額免除
b) 科目等履修生として在籍していた方が正科生・科目等履修生に入学		半額免除		-

上記のみの方は卒業証明書・成績証明書(編入時)の発行代行と証明書の発行手数料の無料措置を受けられます。

※1 中部学院大学には中部学院大学大学院を含みます。

※2 中部学院大学短期大学部には中部女子短期大学、岐阜済美学院短期大学を含みます。

3 済美高等学校(※3)に在籍していた方

a) 正規生(生徒)として在籍していた方が正科生・科目等履修生・特修生に入学	入学金	全額免除	選考料	全額免除
--	-----	------	-----	------

※3 済美高等学校には済美女子高等学校を含みます。

④郵送対応手数料:8,000円

『学習ガイドブック』等の教材や各種申請や提出物などの事務手続は、インターネットを使った Web 対応が基本となります。ただし「郵便」での対応を希望する方を対象とした「郵送対応」を行います。希望する場合は、「郵送対応手数料」として年額8,000円が必要となります。

なお、このサービスは今後廃止も含め、見直しを予定しています。

⑤単位認定手数料:3,000円 /1科目 (P16参照)

※編入学による包括単位認定(上限62単位まで)や、すでに本学で修得した単位の認定料は不要です。

⑥実験科目履修費:20,000円 /1科目 (心理学実験 A・B を履修の場合)

⑦同窓会「桐友会」加入費:1,000円 (正科生は卒業時に加入(3年間有効))

⑧その他

科目修了試験に不合格の場合の「再試験」には再試料(1科目2,000円)が必要になるなど、その他の諸費用が発生する場合があります。

履修有効期間

各科目の履修登録には履修授業料(5,000円 /1単位)の納入が必要となります。履修登録した科目には「履修有効期間」が設定され、有効期間内に当該科目の単位が修得できない場合には、再び履修授業料を納入することで当該科目の再履修が可能となります。

●正科生の場合

履修有効期間は履修登録を行った年度の翌年度末(約2年間)まで有効です。履修登録は春期と秋期の年2回あります。※秋期登録も翌年度末の3月までとなり、実質1年半の有効期間となります。

●科目等履修生・特修生・聴講生の場合

科目等履修生・特修生・聴講生の在学期間は1年間です。在学に関する継続手続を行えば、学籍は継続されます。学籍が継続された場合の履修有効期間は正科生と同じく登録年度から翌年度末までとなります。

(注意)

「履修有効期間」の制度は、余裕をもった学習計画が立てられるように支援する制度です。登録した科目は有効期間内であれば年度をまたいでも、再び履修授業料を納入することなく学習が継続できます。

ただし、授業計画や提出課題(添削レポートの課題)などは4月から翌年3月までの「年度」を基本として出題・構成されています。

したがって、履修有効期間が翌年度末までであっても、その科目の学習が年度をまたいだ場合は、提出課題や教科書が変更される可能性があり、**指定教科書を再び購入する費用などが生じる場合があります。**

学費の納入方法について

入学時の学費(入学金・基本授業料)はコンビニエンスストア等で納入となりますが、それ以降の学費は預金口座からの自動引き落としになります。(本学では、学生が金融機関に開設している預金口座から、学費を自動的に引き落とす「預金口座振替制度」を採用しています。)このため、金融機関にご自分名義の口座をお持ちでない方は、口座を開設していただく必要があります。

入学手続き時の学費納入期限

各入学期(出願区分)の「入学手続締切日」までに入学金・基本授業料の納入がない場合は入学を辞退したものとみなします。

新入生紹介制度

在学生・卒業生紹介制度

本学通信教育部の在学生や卒業生からのご紹介を受けた方に対して、入学金を免除する制度です。

①紹介を受ける方

以下 a) ～ d) のすべての条件を満たす方が対象となります。

- a) 本学の1年次入学または3年次編入学を志望する方(再入学生は除く)
- b) 目的意識が明確で学習意欲が高く、他の学生の模範となる方
- c) 入学後も紹介された方より通信教育部で学習する上での支援が受けられる方
- d) 桐華会(通信教育部学生会)の諸行事に積極的に参加をしていただける方

②紹介をする方

- a) 本学通信教育部の在学生または卒業生(学生種別は正科生のみ)
- b) 本学通信教育部の運営にご理解いただき、かつ紹介した方が入学した後も継続して必要に応じた支援ができる方

福祉施設長推薦制度

厚生労働省令指定の福祉施設等を運営する法人の代表者または、施設長から推薦を受けた方に対して、入学金を免除する制度です。

①推薦を受ける方

以下 a) と b) の条件を満たす方が対象となります。

- a) 社会福祉士または精神保健福祉士指定施設に勤務し、運営法人の代表者または、施設長より推薦を受けられる方
- b) 本学の1年次入学または3年次編入学を志望する方(再入学生は除く)

②推薦をする方

- a) 社会福祉士または精神保健福祉士指定施設を運営している法人の代表者または、施設長

上記2つの紹介(推薦)制度についての詳細は下記の通りです。

①免除の金額

入学金全額20,000円

②対象となる学生種別

当該年度の4月入学生(正科生)

③在学生・卒業生紹介制度、福祉施設長推薦制度の利用・申請等について

制度を利用する際は、以下の手順に沿って書類申請してください。

- a) 在学生または卒業生(紹介者)は要項にある「紹介状」(様式⑫)に必要事項を記入してください。
- b) 運営法人の代表者または、施設長(推薦者)は要項にある「施設長推薦状」(様式⑬)に必要事項を記入してください。
- c) 入学志望者は、当紹介状または、施設長推薦状を出願書類と一緒に本学へ提出(書類申請)してください。
- d) 申請の受付は出願書類の受付と同時に行い、可否発表時に当申請の受理通知を行います。

④当制度の適用について

可否発表後の入学手続き時において、入学金の納入は必要ありません。

Q & A

1 入学関係

1-1 出願期間が「6期制」とはどういう仕組みですか？

4月入学では出願期を第1～5期に分けており、10月入学の出願期を第6期としております。4月入学においては、どの出願期の入学生も学籍管理上の入学日は4月1日となります。出願期毎に合格発表や入学手続きを順次行いますので、出願期が早いほど学習の準備も早く整います。2期までの出願者の場合は概ね4月上旬・中旬からの学習開始となります。5期の出願では5月末頃からの学習開始となります。

1-2 出願は早く行ったほうがよいのですか？

出願を先着順で締め切るようなことはありません。書類の不備のないよう準備のうえ、出願期間内に申し込んでください。1-1で説明しているとおり、出願時期と学習開始時期は比例しますので、特に3年次編入生で実習を伴う資格を希望される方は、学習量やスクーリングの受講日程を踏まえ、早め(2期まで)の出願をおすすめします。

1-3 現在、他の大学の学生です。同時に中部学院大学の通信教育部(正科生)への入学は可能ですか？

入学できません。学校教育法に定められた大学・短期大学・高等専門学校の学生が他の大学に入学することは、『二重学籍』となり禁じられています。

1-4 専門学校に通っていますが、入学は可能ですか？

専門学校の場合は、1-3のような『二重学籍』にあたりませんので入学できます。

1-5 入学試験はどのような形式で行われるのですか？

本学では入学試験を行っていません。入学に関わる可否は、出願書類および志望理由書等の書類選考にて判定します。

1-6 心身に障がいのある場合、出願に際して注意すべきことはありますか？

P14を参照のうえ、出願前にご相談ください。入学希望者と本学担当者間で事前相談や情報共有を行うことで、入学後の合理的配慮につないでいきます。

1-7 海外に在住しています。入学は可能ですか？

海外に在住されている方は原則として本通信教育部に入学できません。

1-8 新入生向けのオリエンテーションはありますか？また参加は必須ですか？

出願期ごとに新入生個別オリエンテーションの開催を予定しております。参加は必須ではありませんが、特に通信教育課程での学びが初めての方は、学びのしくみを理解したうえで学習を開始していただくことが重要です。入学目的や希望資格、学習進捗も学生一人ひとりで異なりますので、自分自身で学習計画を管理しなければなりません。まずは本学から送付される各種の手引や資料に目を通してください。また、オリエンテーション動画の視聴についてもご案内します。そのうえで理解できない点や助言を求めたい点、確認点等を新入生個別オリエンテーションに参加することで明確にしてください。オリエンテーションの日程は出願後にご案内します。

2 資格・所属コースについて

2-1 所属コースはいつ決まりますか？

所属コースは、入学願書の「取得資格希望調査」に記載された内容に従います。入学生の方は、合格発表後に送付される「学籍番号・所属コース 通知書」にて確認し、コースの“追加”や“取消”事項がある場合は調整のうえ、所属コースを決定します。

また入学後も春と秋の履修登録期間には、所属コースの追加・変更が可能です。但し、精神保健福祉士コースは入学時の選抜者のみ所属することができます。選抜者以外の方が、学習途中に精神保健福祉士コースを追加することはできません。

2-2 社会福祉士コースで、認定心理士の資格を取るための科目を履修することはできますか？

社会福祉士コースに所属している方は、認定心理士の資格取得に必要な科目のすべてを履修することができません（認定心理士のコース科目を履修できません）。ただし、所属コースは複数選択することが可能ですので、両資格を取得希望の場合は、社会福祉士コースと認定心理士コースの両方に所属してください。

2-3 社会福祉士などの国家資格取得をめざしています。科目等履修生として必要な単位を修得すれば、受験資格を得ることができますか？

科目等履修生では、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格受験資格を得ることはできません。これらの受験資格取得には、正科生として入学後、必要な科目単位を修得し、卒業することが必要です（卒業と同時に得られます）。

なお認定心理士の資格については、すでに他の4年制大学を卒業している場合において、科目等履修生としての学習により資格取得が可能です。

2-4 社会福祉士受験資格又は精神保健福祉士受験資格を目指す場合、実習の免除制度はありますか？

厚生労働省が定める施設・機関において、本学入学前に1年以上の相談援助業務の実務経験がある場合に実習が免除されます。この場合の「入学前」とは、2025年3月31日までをさします。

概要についてはP20を参照してください。また、本学通信教育部のホームページにも実習免除に関する情報を掲載しています。

2-5 社会福祉士受験資格と精神保健福祉士受験資格の取得を同時に目指すことはできますか？

2つの資格取得を同時に目指すことは可能です。ただし、資格取得に必要な科目（単位）が増加するため、堅実な学習計画が必要です。また資格取得に向けては、それぞれのコースに所属する必要があります。

2-6 認定心理士の取得を目指すには、実験科目の履修が必要と聞きましたが「実験」とは「実習」のことですか？

「実験」科目と「実習」科目は異なります。また、認定心理士の取得において「実習」は不要です。なお、「実験」科目として「心理学実験 A」、「心理学実験 B」を履修しますが、こちらは通常のスクーリング・レポート科目として学びます。

2-7 科目等履修生で入学する場合、1年間で認定心理士の取得は可能ですか？

科目等履修生（大卒者）として認定心理士の資格取得を目指す場合は、資格に必要な全科目の学習順序や学習量を踏まえると1年半～2年が標準的な学習期間となります。学習計画により1年での取得も可能ですが、スクーリングを含む綿密な学習スケジュールが必要となります。なお、科目等履修生は学籍更新をすることで複数年数に渡って学習を進めることが可能です。

2-8 保有資格による単位認定の申請は必要ですか？

該当資格を保有している方の単位認定の申請は任意です。1年次入学生は、保有資格による単位認定を受けることにより卒業に必要な単位数を減らすことができると考えてください。但し、単位認定手数料が必要となります。3年次編入学生は、入学時に包括的に62単位が認定されることを前提とした取り扱いとなります。P16～19を確認のうえ、卒業要件や取得をめざす資格に必要な科目（単位）であるか等にも注意し、必要に応じて申請してください。なお、入学後に履修科目を決定し、申請の可否を判断したうえで申請することも可能です。

3 学習方法について

3-1 学習を進める上でパソコンが必要ですか？（P15参照）

本学通信教育部での学習および各種の事務手続きは、インターネットやパソコンの利用が中心となります（学習支援システム“チューナビ (Chu-Navi)”の利用、『学習ガイドブック』等の電子ブックの閲覧など）。通信教育での学習を始めるにあたっては、インターネット接続環境やパソコン等の学習環境をご準備ください。

※現在は郵送対応（手数料8,000円/年）によるオプションの利用も可能ですが、こちらは予告なく変更、または終了する場合があります。

3-2 自宅学習をしていて疑問点が生じた場合などは、どのような方法で質問をしたらよいですか？

自宅からの質問は、学習支援システム“チューナビ (Chu-Navi)”の「質問票」より行います。科目の内容については担当教員宛に、事務手続き等については事務課宛に問い合わせが可能です。また、学習全般についてのご相談は、通信教育部事務課スタッフ（学習アドバイザー）が電話やメール、面談（オンラインを含む）等により対応します。

3-3 科目修了試験に不合格となった場合、どのような取り扱いになりますか？

科目修了試験は年6回偶数月に実施しています。そのため不合格となっても、履修有効期間内であれば受験申請のうえ再受験ができます。また履修有効期間が翌年度までである場合は、翌年度での受験も可能です。1回目の受験は無料ですが、不合格科目を再受験する2回目以降は、1科目¥2,000の再試験料が必要になります。

4 学習内容について

4-1 卒業に向けて「卒論」を書く必要がありますか？

卒業論文の執筆は、卒業のための必修要件ではありません。

ただし、3・4年次に開講される「卒業研究」科目を履修した場合は、科目の内容として卒業論文を執筆します。将来、大学院への進学を考えている方は積極的に履修するとよいでしょう。

4-2 修了試験にはどのような内容が出題されるのですか？

修了試験は、レポート学習について行う科目修了試験とスクーリング学習について行うスクーリング修了試験に分類されます。試験時間はどちらも60分間で、各科目により論述形式や択一形式などの問題が出題されます。出題の内容やそのポイントは「学習ガイドブック」に記載してありますので、これらを参考として修了試験に備えることができます。

4-3 提出課題（レポート）に上手に取り組めるか不安があります。

通信教育の学習では教科書を読解し、レポートとしてまとめる力が求められます。正科生の必修科目である「課題研究 I」では、この“読む”“書く”“まとめる”という基礎学習に焦点を当てた授業を展開し、学生の皆さんの基礎学力向上・強化を図ります。また、この科目は少人数クラスで開講されるため、仲間作りの機会ともなります。入学後の学習生活をスムーズに進める上でも、新入生の方には早めの受講を推奨しています。

5 スクーリング関係

5-1 スクーリングの日程は、いつ頃に公表されますか？

スクーリング日程は、前年度3月に1年間の日程を公表します。出願期により送付時期は異なりますが、入学予定者には順次スクーリング日程表の暫定版と確定版を送付します。

5-2 スクーリングは1科目あたり何日間受講するのですか？

スクーリングは1科目について2日間連続で終日受講するタイプが中心です。実習指導科目のスクーリングは2回設定しており、オリエンテーションとして2日間、事前指導として2日間実施します。週末型(土日)のスクーリングが中心で、8月と2月には一部の科目で平日に開講するスクーリングもあります。

5-3 新入生は、いつからスクーリングを受講できますか？

新入生が受講できるスクーリングは、最も早いもので5月より開講します。なお、希望のスクーリングを受講するためには、当該科目の履修登録とは別に、スクーリングの受講申請が必要となりますので、学習開始時は特にご注意ください。
また、スクーリング受講前にレポート提出とその合格を要する科目もあります。従って新入生が入学時より多くのスクーリング科目を受講することはありません。なお、出願期により学習開始時期が異なりますので、一部の新入生は、入学直後のスクーリングを受講申請できない場合があります。

5-4 受講を予定していたスクーリングを欠席した場合はどのようになりますか？

改めて別日程でスクーリングを申請し、受講することになります。都合により受講できなくなった場合、開講日の2日前までのキャンセルであれば、スクーリング料は発生しません。開講日の2日前を過ぎてキャンセルした場合、または当日欠席した場合はスクーリング料が発生します。なお、スクーリングの日程や開講場所・開講方法は学生個々の学習計画に大きく関係するものです。キャンセルや欠席により遠方でのスクーリング受講を選択せざるを得ないことや、すぐに受講できる日程の選択肢が無くなることもあります。スクーリングを欠席した場合には、その後の学習計画の再確認が必要です。

5-5 自宅受講だけで卒業に必要なスクーリング単位を修得することはできますか？

自宅受講できる科目としては、オンデマンドで収録授業を受講する「放送授業」科目が5科目10単位、Zoomによるライブ形式の授業を受講する「オンラインスクーリング」が10科目20単位ほどあります(2024年度実績)。1年次入学生は30単位、3年次入学生は16単位のスクーリング単位が必要ですので、計算上は自宅受講だけでスクーリング単位を修得することは可能です。但し、希望資格や卒業に必要な科目が会場スクーリングでのみ開講されている場合も少なくありません。
本学のスクーリングは、開講数として会場での対面スクーリングを最も多く配置しています。スクーリング受講を計画する際、基本的には会場受講で、科目によっては放送授業やオンラインスクーリングが選択できるものとしてご理解いただければと思います。

6 実習関係

6-1 社会福祉士に関わる実習の実習先は、どのような条件が定められていますか？

社会福祉士に関わる実習の実習先は、厚生労働省が定める施設・機関であり、且つ、厚生労働省が定める「実習指導者」が当該実習先に所属している必要があります。「実習指導者」とは社会福祉士の資格取得後3年以上の実務経験に加えて、「実習指導者講習会」を修了している必要があります。
なお、社会福祉士に関わる本学での実習の要件として、機能の異なる2施設で合計246時間以上の実習が必要です。このような要件を満たす施設・機関が実習先の条件となります。

6-2 精神保健福祉士に関わる実習の実習先は、どのような条件が定められていますか？

精神保健福祉士に関わる実習では、2つの種別の機関・施設で実習を行う必要があります。2つの種別の機関・施設とは厚生労働省が定める精神科の医療機関と障害福祉サービス事業を行う施設等です。また当該機関・施設には、「実習指導者」が所属している必要があります。なお、本学では215時間の実習時間の内、精神科医療機関での実習は最低92時間以上が必要です。

6-3 現在、社会福祉施設に勤務していますが、勤務先での実習は可能ですか？

勤務先の施設が厚生労働省告示により社会福祉士に関わる実習または精神保健福祉士に関わる実習の実習施設として指定された施設で、且つ、厚生労働省が定める「実習指導者」が当該施設に所属していれば勤務先での実習も可能です。
ただし、勤務先での実習期間中は休暇を取り、実習生として決められた実習プログラムに取り組まなければなりません。

6-4 実習は何年生で履修できますか？

1年次入学の場合、社会福祉士や精神保健福祉士に関わる実習は、3年次から4年次にかけて履修可能です。
また3年次編入学生の場合は、実習指導科目の履修など準備期間が必要となるため、最短でも入学年度末からの実習となります。

6-5 実習までに必要となる準備は、どのようなものですか？

実習を開始するまでには、「実習指導科目」の学習(レポート提出、スクーリング受講など)、「履修要件科目」の学習(実習に臨むにあたって必要な科目の学び)、そして実習先や大学に提出する書類等の「事務手続き」が必要になります。
これらの実習に関わる学習や諸手続き等の一連の流れは、実習指導科目の「オリエンテーション」スクーリング、「(実習)事前指導」スクーリング等の中で確認し、理解を深めます。
入学前より準備することは特にありませんが、実習指導および実習科目の学習期間は1年以上を要しますので、3年次編入生の方は入学後速やかに実習指導科目の学習を開始し、オリエンテーションスクーリングを受講するようにしてください。

6-6 実習を行う時期に限定(指定)があるのでしょうか？

本学では社会福祉士または精神保健福祉士に関わる実習の時期に限定や指定は特に定めていません。実習までに必要となる準備(事前指導スクーリングの受講、各種の事務手続きなど)が終了していれば、いつでも実習を開始することが可能です。また実習時期は受入施設・機関と実習生との調整により決定することになります。

6-7 実務経験による実習の免除について教えてください。

相談援助業務の実務経験による社会福祉士・精神保健福祉士に関わる実習の免除については、P20をご覧ください。該当する方は「実習科目履修免除申請の手引」による申請が必要となりますので、同手引を本学よりお取り寄せください。

6-8 社会福祉士の実習時間の一部免除について教えてください。

社会福祉士コース希望者の方で、精神保健福祉士養成課程または介護福祉士養成課程において各指定科目の実習を履修済の場合は、本学でソーシャルワーク実習を行う際、実習が一部免除(62時間の免除)となります。精神保健福祉士資格・介護福祉士資格の取得にあたり、実習科目を履修していない(実習免除等)場合は、同資格の保有者であってもソーシャルワーク実習の一部免除対象とはなりません。
なお、実習の一部免除についての手続きは入学後の実習指導科目の中で行います。

6-9 精神保健福祉士の実習時間の一部免除について教えてください。

精神保健福祉士コースの希望者の方で、社会福祉士養成課程において指定科目の実習を履修済の場合は、本学で精神保健福祉実習(精神保健福祉士実習)を行う際、実習が一部免除(61時間の免除)となります。社会福祉士資格の取得にあたり、実習科目を履修していない(実習免除)場合は、同資格の保有者であっても精神保健福祉実習の一部免除対象とはなりません。また、実習の一部免除についての手続きは入学後の実習指導科目の中で行います。
なお、本学において社会福祉士・精神保健福祉士の両実習を行う場合は、社会福祉士実習を先に行うことを優先とします。社会福祉士実習を終えた学生は、引き続き精神保健福祉士実習を行う際、実習の一部が免除となります。

7 学費について

7-1 単位制学費にはどのようなメリットがあるのか教えてください。

本学が採用する単位制学費では、基本授業料に加え、学習する科目の単位数に応じて学費を支払います。つまり学習する分だけ費用が発生するため、支払いに無駄がないというメリットがあります。また正科生の基本授業料31,000円(年額)※1、履修授業料5,000円(1単位)※1は他大学と比較し、リーズナブルな設定となっています。

単位制学費のもう一つのメリットは、学習期間が伸びても学費の総合計はあまり変わらないことです。例えば卒業に要した年数が、4年の場合と5年の場合では基本授業料の差異のみが学費に影響します。このことは学費負担への不安を小さくし、自分のペースで学習できることを意味します。

その他、経済的な負担を軽減する本学の仕組みとして、卒業や資格取得に向けて効率的なカリキュラムが編成されていること、1科目の学習可能な期間(履修有効期間)が2年間と、ゆとりをもって学習できること等が挙げられます。

※1 2026年度より授業料を改定します。改定後は基本授業料(年額)36,000円、履修授業料(1単位)5,500円となります。なお改定は、2026年度以降に在籍する全ての学生に適用されます。

7-2 奨学金や学費減免制度について教えてください。

本学独自の奨学金や学費減免制度として次の制度があります。

①成績優秀者に対する奨学金制度(入学後)

本通信教育部に正科生として1年以上在学した方の内、人物・成績の優秀者(選抜による)に対して年額50,000円を支給する制度です。この奨学金制度は正科生として1年以上在学した後で、1年間に一定単位数以上を修得していれば毎年度、応募できます(上限あり)。

②託児費用を援助する奨学金制度(入学後)

有料の託児サービスを利用(対象:同居する0歳~小学校6年生までの児童)してスクーリングや実習に参加する学生に対して、その費用の一部(5,000円上限)を補助する制度です。年間に4回まで応募できます(採用枠あり)。

③本学院卒業生への選考料・入学金減免(出願時)

中部女子短期大学(現中部学院大学短期大学部)など、本学院の卒業生や在学生在が本通信教育部に入学する場合に選考料や入学金の一部または全額を免除する制度です。本通信教育部の科目等履修生として入学した後(翌年度など)に正科生として再び入学する場合にも適用されます。P29を参照してください。

④新入生紹介制度・福祉施設長推薦制度による入学金減免(出願時)

P30を参照してください。

その他の制度

⑤日本学生支援機構奨学金制度

スクーリングを受講する正科生が対象となる奨学金制度で、有利子奨学金と無利子奨学金があります。

8 編入学関係

8-1 専門学校を卒業する予定ですが、3年次編入学はできますか？

専門学校(専修学校)で修業年限が2年以上、且つ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了した場合は、3年次への編入が可能です。

8-2 4年制の専門学校を卒業し「高度専門士」の称号を得ています。この場合は、何年次の編入学が可能ですか？

原則として「高度専門士」の取得者は、3年次への編入学が可能です。

8-3 私は、短期大学の経営学科を卒業しました。福祉とは分野が異なりますが、編入学した場合の単位認定は可能ですか？

認定可能です。短期大学を卒業しているなど「編入学要件」を満たしていれば、卒業した短大等の学習分野にかかわらず、62単位が包括認定されます。

8-4 4年次編入学の対象者を教えてください。

4年次編入学制度の対象者は、本学通信教育部、または通学課程の卒業生に限ります。このため、その他の編入学要件を満たしていても、本学の卒業生でなければ4年次への編入学はできません。

なお、出願には4年次編入学用の募集要項が必要となりますので、通信教育部事務課まで請求してください。

9 特修生関係

9-1 高等学校を中退していますが、入学できますか？

高等学校を卒業していない場合は「特修生」として本学に入学することができます。「特修生」として入学後、指定された科目の中から16単位以上を修得することで、中部学院大学通信教育部の正科生への出願資格が得られます。なお、この「特修生」への入学は入学時に満18歳以上であることが条件です。

9-2 特修生は何年間在籍すればよいのですか？

特修生の在学期間は1年間です。ただし、学籍の更新手続きにより、2年間まで在学することができます。また後に正科生として入学した場合、この1~2年の在学期間は、本学の卒業に必要な在籍年数としてカウントされません。したがって、最短では、特修生(1年間)+正科生(4年間)=5年間で本学を卒業することができます。

9-3 特修生で必要な科目単位を修得すると、他の大学に入学することができますか？

できません。入学資格が得られるのは中部学院大学通信教育部に限ります。(本学通学課程にも入学できません)

10 学生生活・その他

10-1 高卒で1年次入学なのですが、大学の学習についていけるかどうか心配です。

1年次入学の方には「学習アドバイザー制度」により、全員に学習アドバイザーを配置します。学習につまずきそうになったら、お気軽に何でもご相談ください。

10-2 4年間(2年間)で卒業できない場合などは、どのようになりますか？

在学期間は1年次入学生の場合、最長8年間、3年次編入学生の場合は、最長4年間です。この年限を参考に自分のペースに合わせた学習を計画的に進めてください。

また、仮に最長在学期間に達した後も、再入学制度によって学習を継続することができます。

10-3 大学の施設を利用できますか？

図書館、学生ホール、ラーニングコモンズなど本学施設を通学課程の学生と同様に利用できます。また、キャリア支援センターでは、就職に関する相談をすることができます。

10-4 卒業証書(学位記)や卒業証明書はどのような記載になりますか？

通学課程と全く同じです。学位記に通信教育部の名称は記載されません。

10-5 自宅が大学から遠いのですが、大学の図書館はどのように利用できますか？

インターネットを利用して本学図書館の図書を自宅で検索できるほか、自宅に送本するサービスがあります(送料は自己負担となります)。

10-6 電車の乗車券を学割で購入できますか？

正科生はスクーリングに参加する場合などに限り、学割(JR・近鉄)が利用できます(学割証は申請により本学にて発行)。ただし、乗車区間(営業キロ数)が101km以上の場合に限りです。

上記以外の鉄道については、学割の使用の可否を最寄りの駅でご確認ください。

2025年度 学生募集要項

通信教育部 人間福祉学部 人間福祉学科



中部学院大学 通信教育部

関キャンパス

〒501-3998 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地

通信教育部 事務課

TEL 0575-24-2287(直) FAX 0575-24-2710

E-mail tsushin@chubu-gu.ac.jp

URL <https://www.chubu-gu.ac.jp/tsushin/>

【個人情報の取り扱いについて】

出願時にご提供いただいた個人情報に関しましては、入学者選抜に関する業務に使用いたします。個人情報保護法の観点からいただいた情報を厳重に保管・管理し、第三者に個人情報を提供することはありません。